

平成 18 年度市政に関する意識調査
実施結果報告書

平成 19 年 5 月
西 東 京 市

目 次

1	実施趣旨	1
2	制度構築の概要	1
3	応募及び実施の状況	2
4	実施テーマの設定（コンセプト）	2
5	応募者の属性	3
	(1) 性別	3
	(2) 世代	3
	(3) 地区	3
6	集計結果（概要）	5
7	設問及び回答数（単純集計）	14
	(1) 第1回	14
	(2) 第2回	21
	(3) 第3回	31
8	自由回答	39
	(1) 第1回	39
	(2) 第2回	46
	(3) 第3回	51

1 実施趣旨

西東京市では、合併後のまちづくりを市民参加で進めているが、さまざまな施策に対する市民の意向を把握する制度の構築については、西東京市総合計画（基本構想・基本計画）等において検討事項となっている。

この点について、これまでパブリックコメントやホームページアンケートといった手法を実施してきたが、より広範、かつ、迅速に市民の意見・要望を把握するために、あらかじめ登録したモニターによる意見聴取の制度構築が必要とされている。

そのため、平成 18 年度にインターネット・モニター制度を利用した市政に関する意識調査を試行的に実施することとした。

2 制度構築の概要

応募資格	<ul style="list-style-type: none">・ 原則として 18 歳以上の在住者・ インターネットを使用できる人
募集方法	<ul style="list-style-type: none">・ 市報、ホームページ及びちらしで募集・ ホームページに掲載する応募フォームに、以下を記入する方法で応募する。 氏名（ふりがな） メールアドレス 郵便番号 住所 電話番号 性別 年齢 職業等 応募理由（100 字以内）
募集人数	50 名（住民基本台帳人口の約 4,000 分の 1）
実施方法及び回数	<ul style="list-style-type: none">・ モニターが専用ホームページからアンケートに回答する。・ テーマを設定し 3 回実施する。
謝礼	500 円相当。ただし、すべて回答した応募者を対象とする。

3 応募及び実施の状況

応募者数	49名(第2回より1名辞退)	
実施テーマ	東京大学大学院農学生命科学研究科附属農場(以下「東大農場」という。)及び移転問題について	
実施時期	第1回	平成19年1月19日～1月31日
	第2回	平成19年2月21日～3月6日
	第3回	平成19年3月8日～3月19日
回収結果	第1回	48名/49名(回収率98.0%)
	第2回	45名/48名(回収率93.8%)
	第3回	40名/48名(回収率83.3%)

4 実施テーマの設定(コンセプト)

第1回	テーマ	モニター回答者の属性把握
	(1) 性別、年齢、世帯などの一般属性 (2) 東大農場・演習林の認知度と目的別の訪問頻度 (3) 市民・地域参画のうち、参加内容・頻度と寄附実績	
第2回	テーマ	地域及び東大農場に対する評価と、移転問題に対する認識
	(1) 地域としての西東京市・23区隣接地域への評価 (2) 東大農場、演習林の現況機能の評価 (3) 移転問題への認識、移転が生じた場合のまちづくりに望むこと	
第3回	テーマ	東大農場の価値認識、市民の参画意識
	(1) 東大農場の価値把握(CVM-仮想市場評価法-の応用) (2) 市民参加型ファンドへの参画意欲	

5 応募者の属性

(1) 性別

性別	総数	設計人数	
			誤差
男	27	24.700	2.300
女	22	25.250	3.250
合計	49	49.950	0.950

(2) 世代

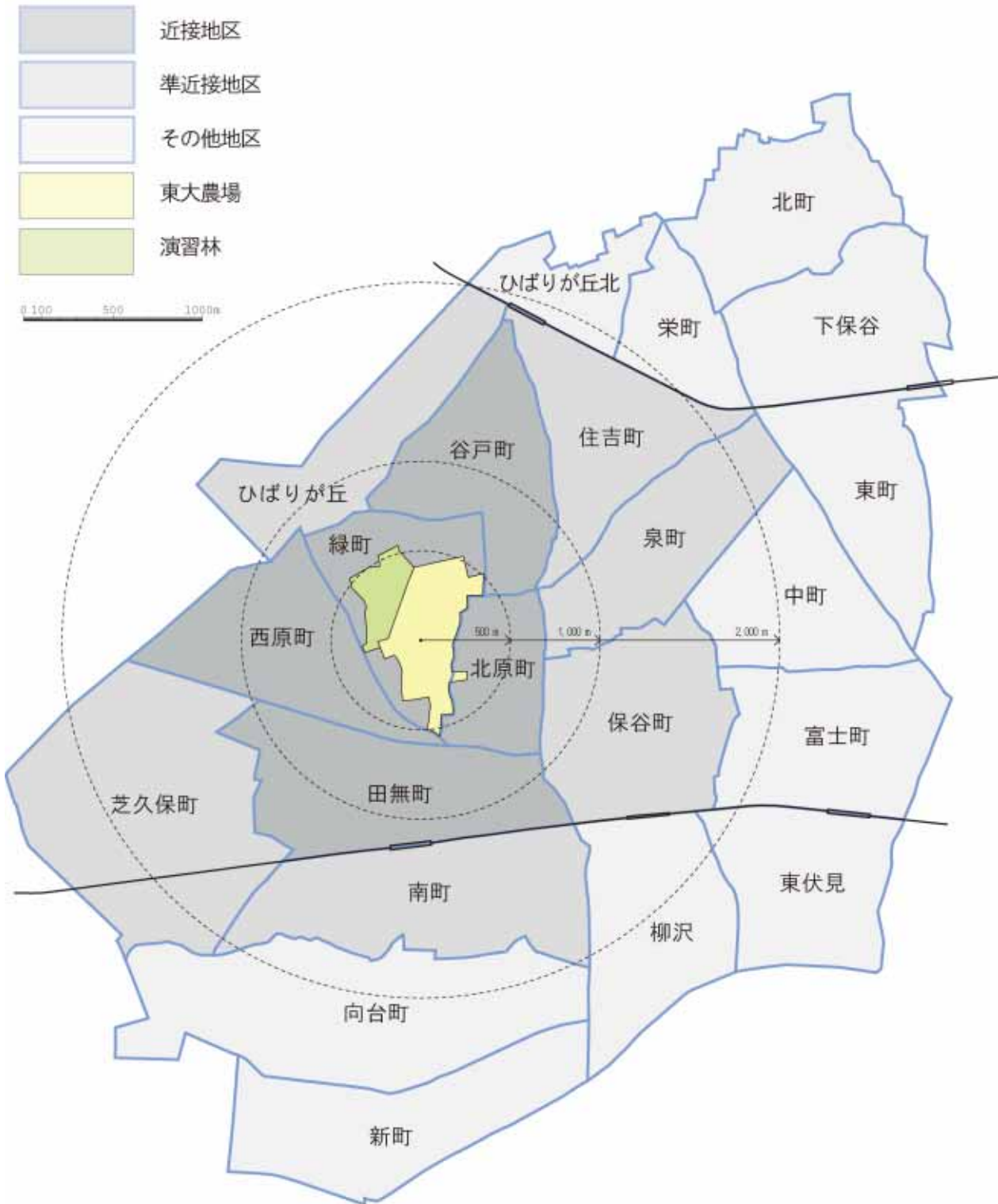
世代	総数	設計人数		誤差
		男	女	
未成年 (18～19歳)	0	0	0	1.200
成年 (20～39歳)	18	8	10	18.100
壮年 (40～64歳)	17	10	7	19.600
老年 (65歳～)	14	9	5	11.100
合計	49	27	22	50.000

(3) 地区

地区	総数	設計人数		誤差
		男	女	
第1地区	10	4	6	13.050
第2地区	24	13	11	11.950
第3地区	2	1	1	13.100
第4地区	9	6	3	6.350
第5地区	3	2	1	5.550
市外	1	1	0	0.000
(再掲)	近接地区	4	6	13.050
	準近接地区	13	11	11.950
	その他地区	10	5	25.000
合計	49	27	22	50.000

近接地区	第1地区	田無町 谷戸町	西原町 北原町	緑町
順近接地区	第2地区	芝久保町 保谷町	南町 泉町	住吉町 ひばりが丘
その他地区	第3地区(市南部)	柳沢	東伏見	新町 向台町
	第4地区(市中部)	中町	東町	富士町
	第5地区(市北部)	栄町	北町	下保谷 ひばりが丘北
	(市外)	(市外)		

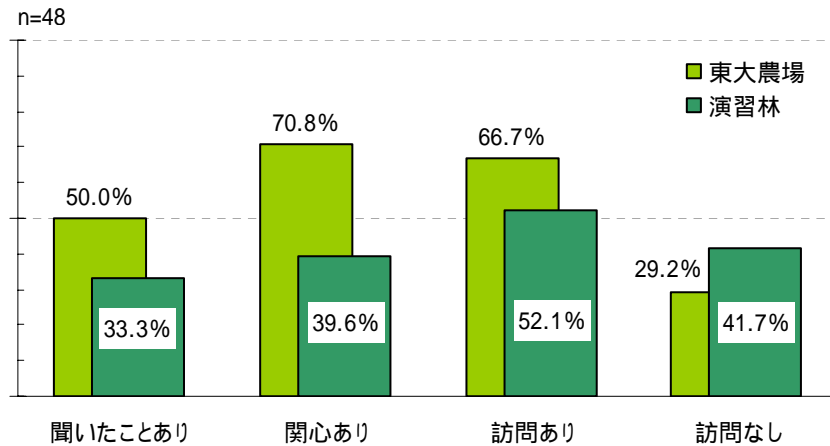
インターネットモニター地区設定



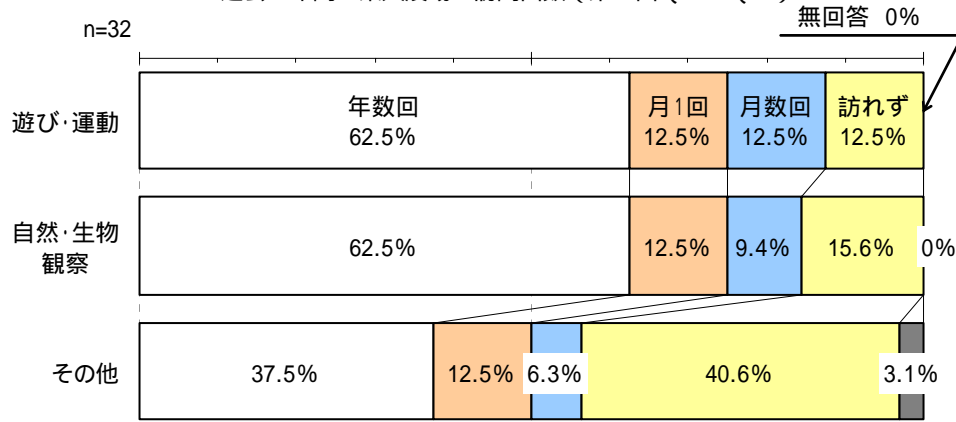
6 集計結果（概要）

- ・ 東大農場には約 7 割が関心ある。演習林には約 4 割が関心ある。
- ・ 約 6 割が遊び・運動、自然・生物観察を目的に、年数回程度は東大農場を訪問している。
- ・ 約 5 割が遊び・運動を、6 割以上が自然・生物観察を目的に、年数回程度は演習林を訪問している。

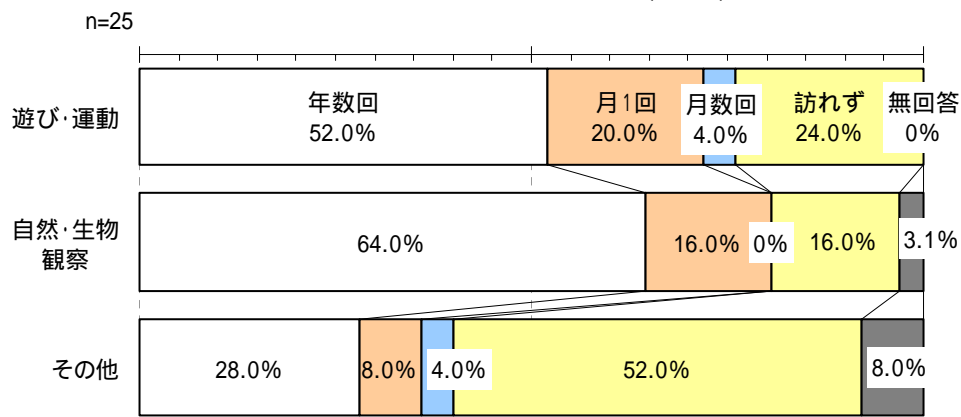
あなたと東大農場・演習林の関わりについて（第 1 回 Q 2、Q 7）



過去 1 年間の東大農場の訪問回数（第 1 回 Q 3 ~ Q 5）

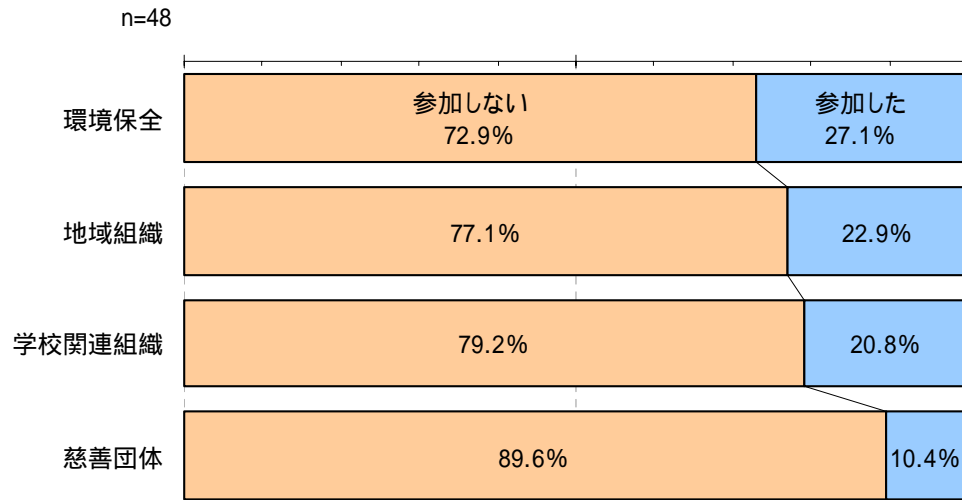


過去 1 年間の演習林の訪問回数（第 1 回 Q 8 ~ Q 10）

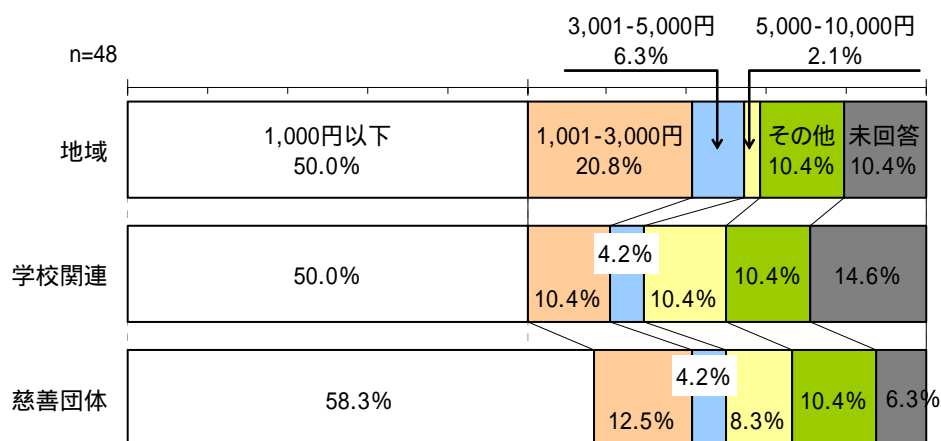


- ・ 地域活動等への参加は3割以下だが、環境保全における参加は、地域組織、学校関連組織、慈善団体と比較するとやや高い。
- ・ 寄附等の実績は、約半数が1,000円以下で、地域関連の寄附では3,000円程度の回答割合がやや高く、学校関連、慈善団体では5,000円以上の回答割合がやや高い。

過去1年間の地域活動等への参加の有無（第1回Q14～Q17）



過去1年間の寄附の実績（第1回Q19～Q21）



・ 西東京市の都市イメージ

『都心や周辺区市へのアクセスがよく、住宅・農地の混在した景観があり、市内で日常生活が充足される。しかし、道路整備が遅れ、職と住との近接が満たされず、また、街のイメージ・特徴に乏しい』

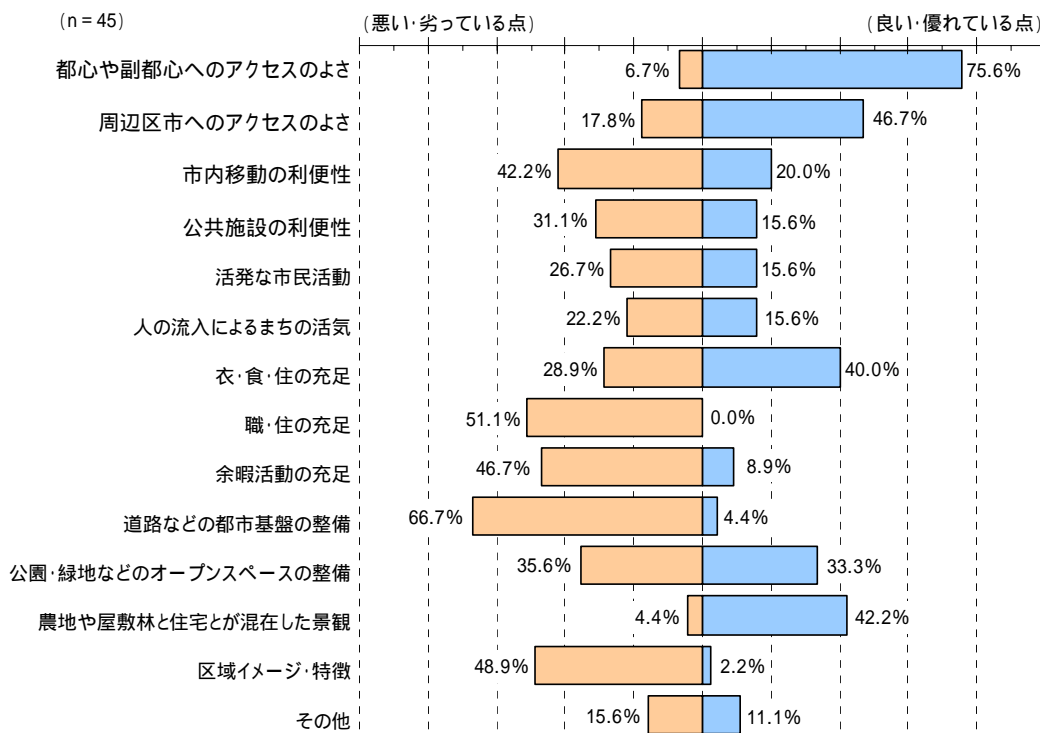
・ 23区隣接地域（武蔵野市、三鷹市、調布市、狛江市及び西東京市）イメージ

『都心や周辺区市へのアクセスがよく、地域内で日常生活が充足される。しかし、道路整備の遅れにより地域内の移動の便が悪く、また、街のイメージ・特徴に乏しい』

・ 西東京市と23区隣接地域とで都市イメージへの回答傾向を比較すると、西東京市では「農地や屋敷林と住宅とが混在した景観」で満足度の高さが目立つ。一方、「余暇活動の充足」「道路などの都市基盤の整備」「職・住の充足」「活発な市民活動」などで満足度が低い。

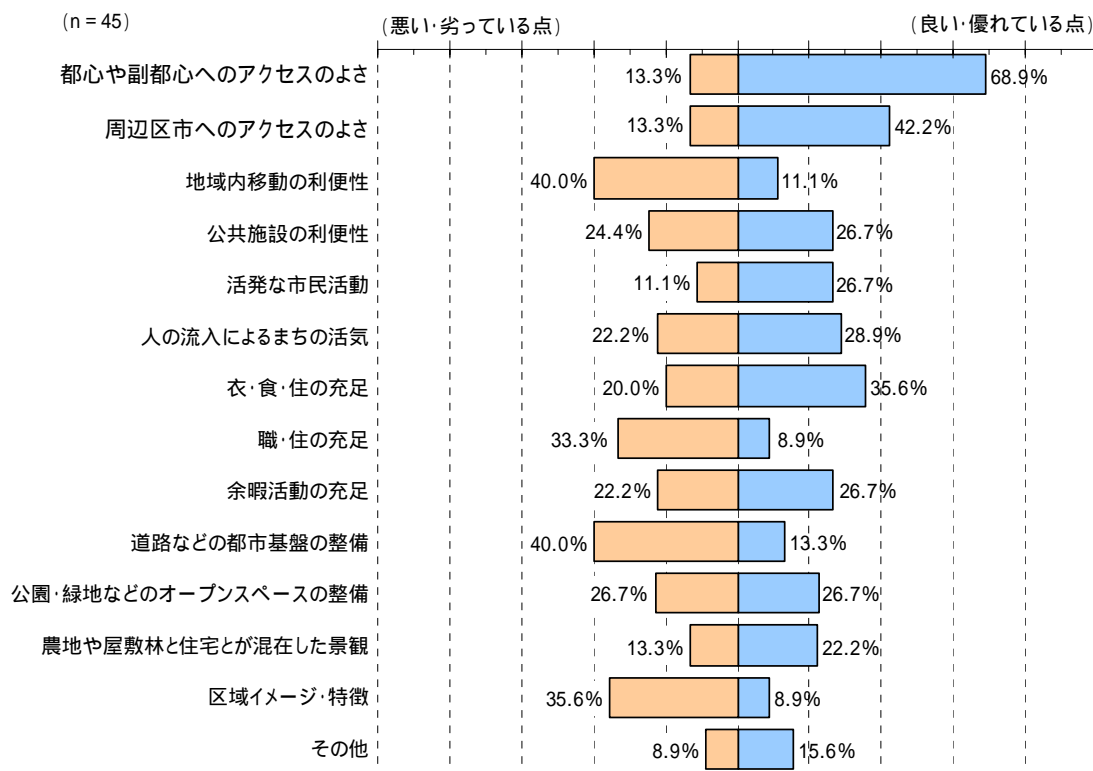
西東京市の良い・優れた点、悪い・劣っている点（第2回Q2、Q4）

良い・優れている点		悪い・劣っている点			
第1位	都心や副都心へのアクセスのよさ	75.6%	第1位	道路などの都市基盤の整備	66.7%
第2位	周辺区市へのアクセスのよさ	46.7%	第2位	職・住の充足	51.1%
第3位	農地や屋敷林と住宅とが混在した景観	42.2%	第3位	区域イメージ・特徴	48.9%
第4位	衣・食・住の充足	40.0%	第4位	余暇活動の充足	46.7%
第5位	公園・緑地などのオープンスペースの整備	33.3%	第5位	市内移動の利便性	42.2%

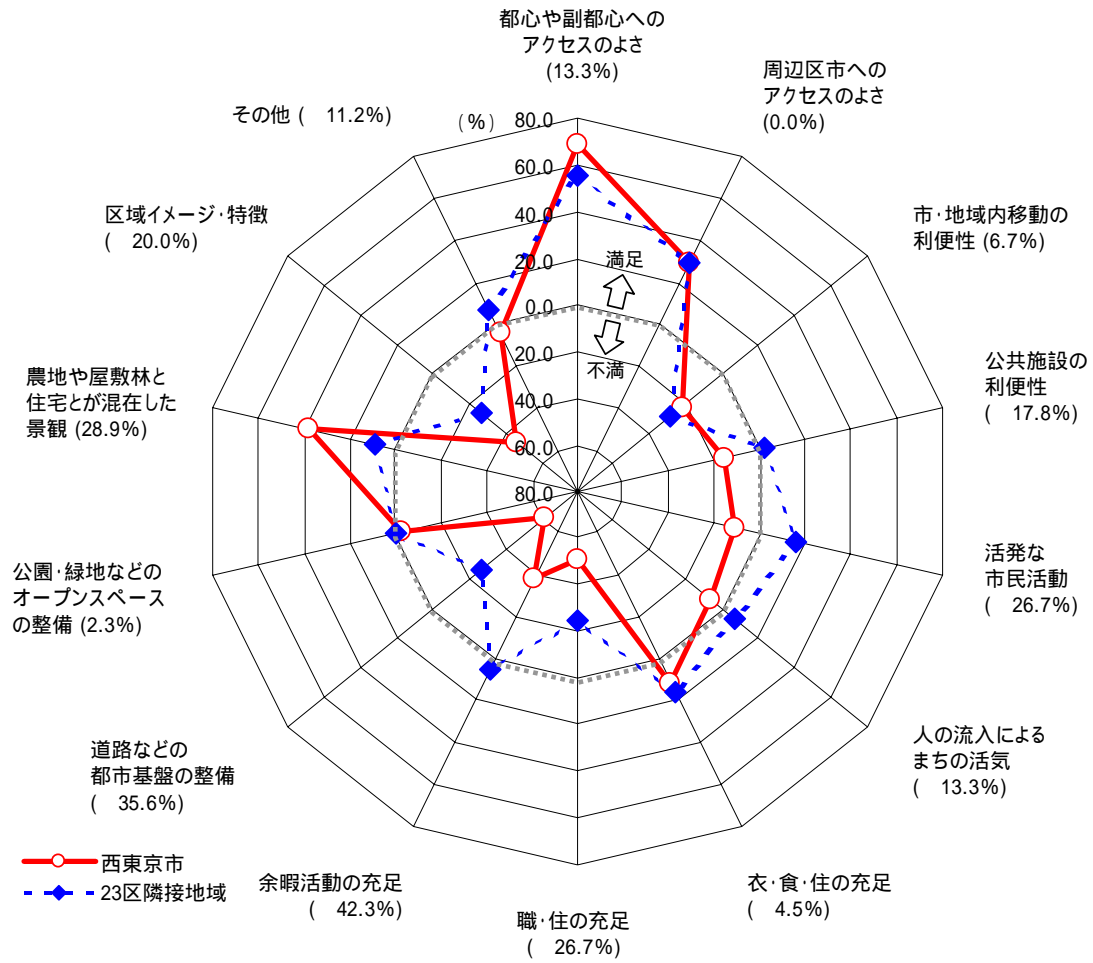


23 区隣接地域の良い・優れた点、悪い・劣っている点（第2回Q6、Q8）

良い、優れている点		悪い、劣っている点			
第1位	都心や副都心へのアクセスのよさ	68.9%	第1位	地域内移動の利便性	40.0%
第2位	周辺区市へのアクセスのよさ	42.2%		道路などの都市基盤の整備	40.0%
第3位	衣・食・住の充足	35.6%	第3位	区域イメージ・特徴	35.6%
第4位	人の流入によるまちの活気	28.9%	第4位	職・住の充足	33.3%
第5位	公共施設の利便性	26.7%	第5位	公園・緑地などのオープンスペースの整備	26.7%
	活発な市民活動	26.7%			
	公園・緑地などのオープンスペースの整備	26.7%			



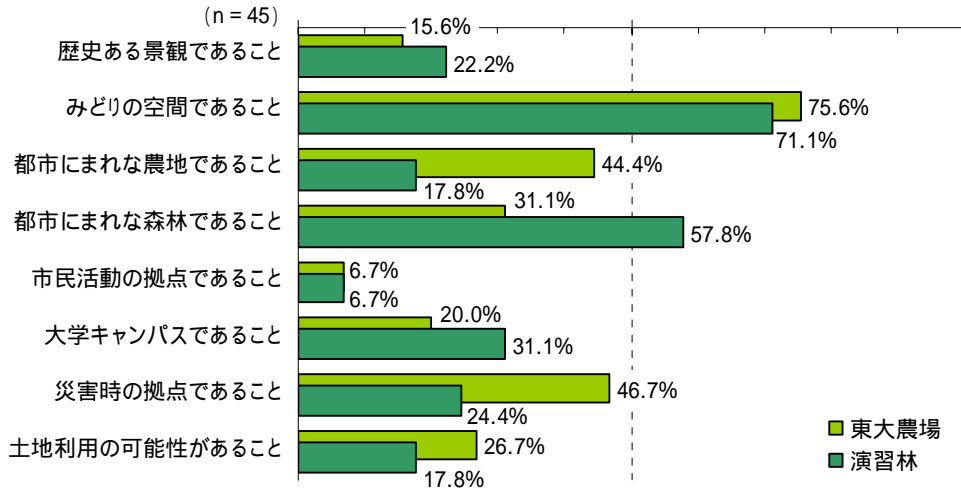
良い・優れた点と、悪い・劣っている点との差（第2回Q2、Q4、Q6、Q8）



注) (%)は、西東京市と23区隣接地域との差

- ・ 7割強が東大農場を「みどりの空間」として、4割以上が「災害拠点」「都市農地」としてイメージしている。
- ・ 約7割が演習林を「みどりの空間」として、6割弱が「都市森林」、約3割が「大学キャンパス」としてイメージしている。

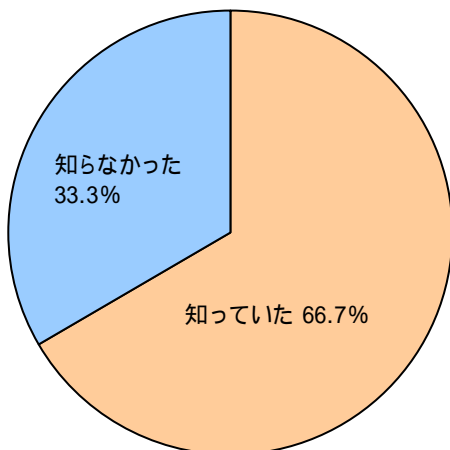
東大農場・演習林のイメージ（第2回Q10、Q11）



- ・ 3分の2が東大農場移転の動きを知っており、老年、男性及び東大農場の近隣地区に住んでいる人ほど認識が高い。
- ・ 移転方針に対して、約5割が移転を契機としたまちづくりを意識しており、成年、準近接地区に住んでいる人ほどそうした意識が高い。また、2割以上が移転すべきでないと考えており、東大農場の近隣地区に住んでいる人ほどそうした意識が高い。
- ・ 移転が現実化した場合に重視するまちづくりコンセプトとしては、みどりの確保、災害拠点機能の維持、景観や自然環境の維持・保全を挙げる人が多い。
- ・ 移転した場合のまちづくりの主体は西東京市と東京都、というイメージが高い。

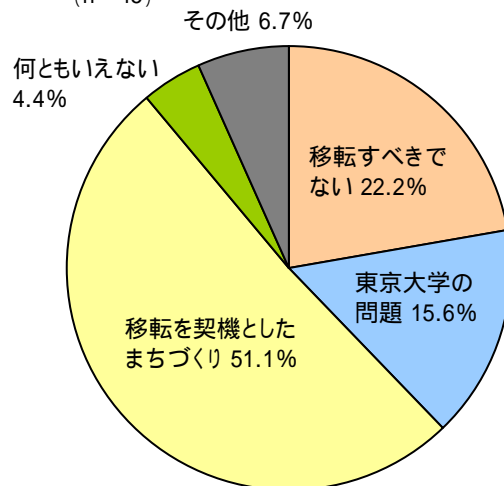
東大農場の移転の動き（第2回Q12）

(n = 45)

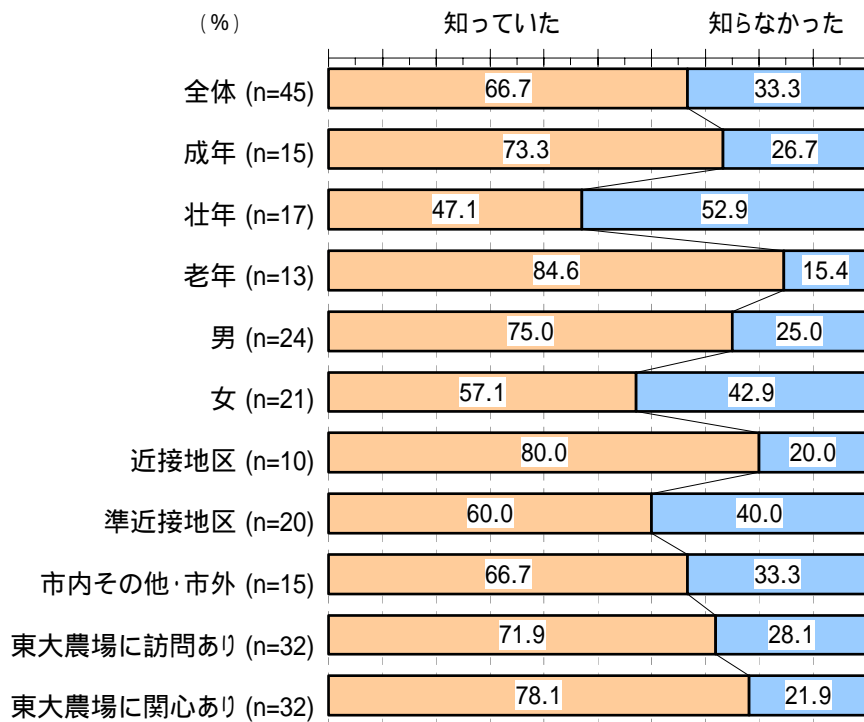


移転方針に対する感想（第2回Q13）

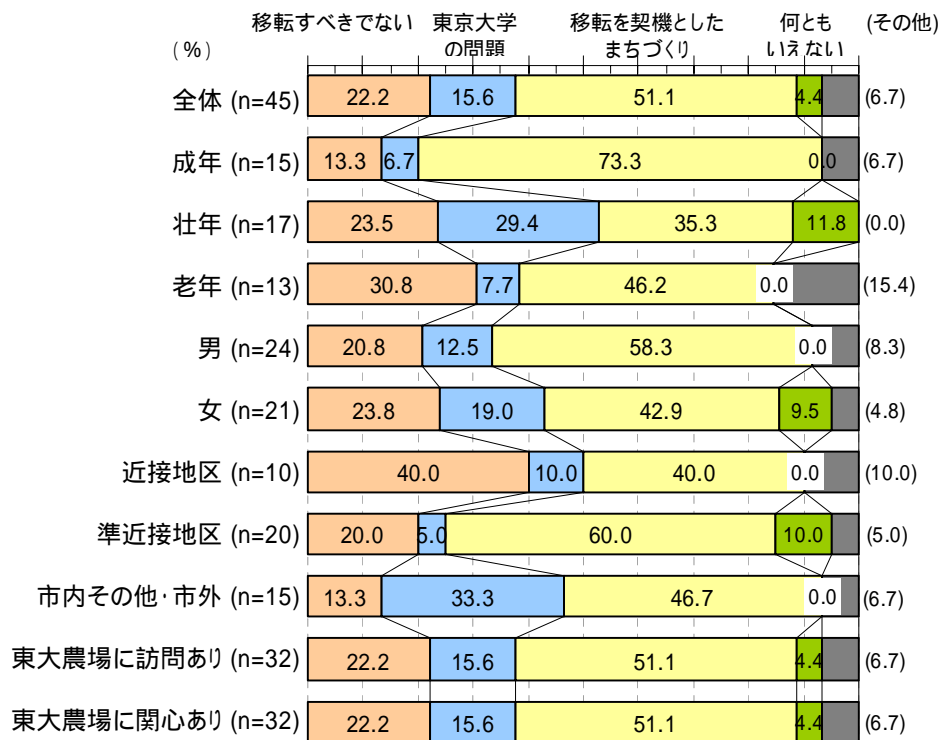
(n = 45)



東大農場の移転の動き・クロス（第2回Q12）

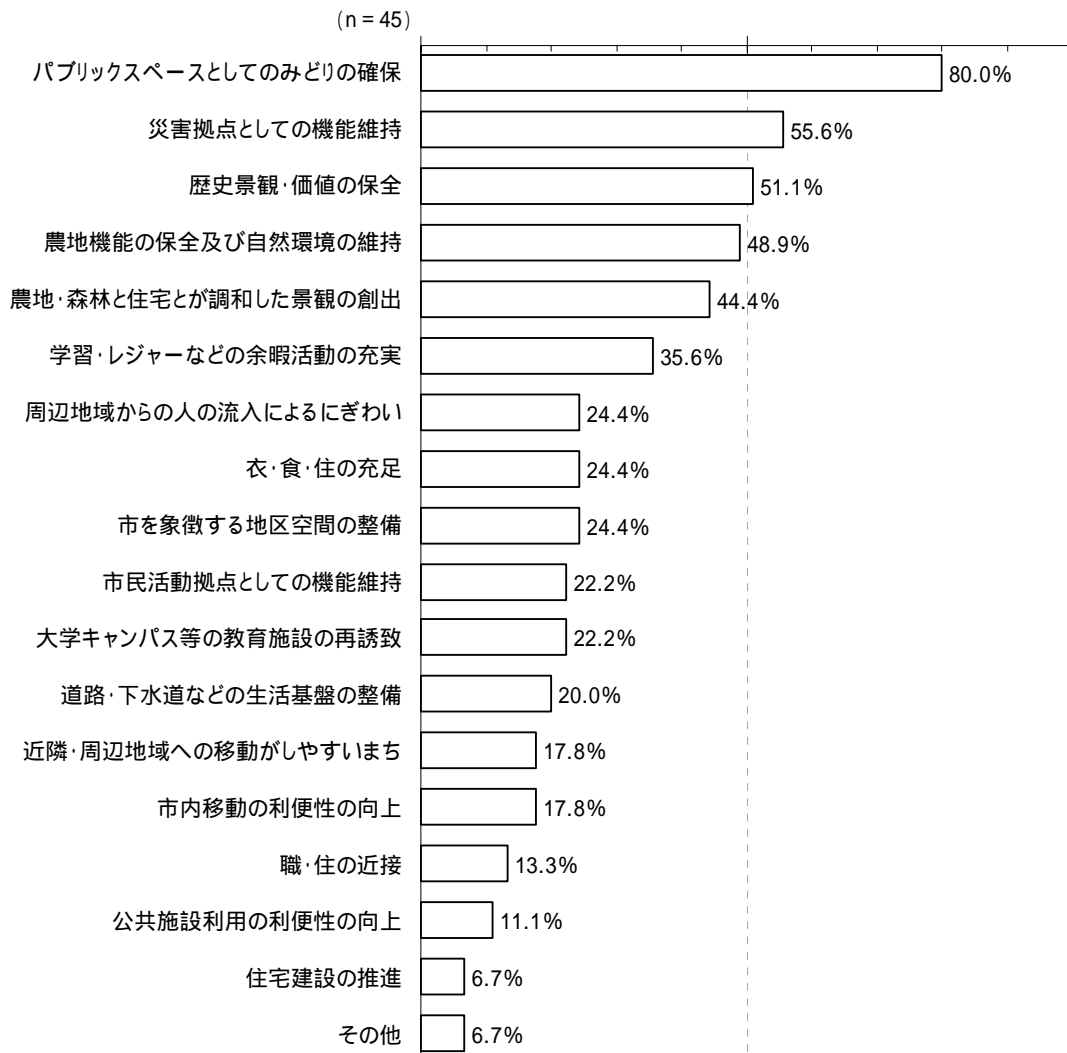


移転方針に対する感想・クロス（第2回Q13）

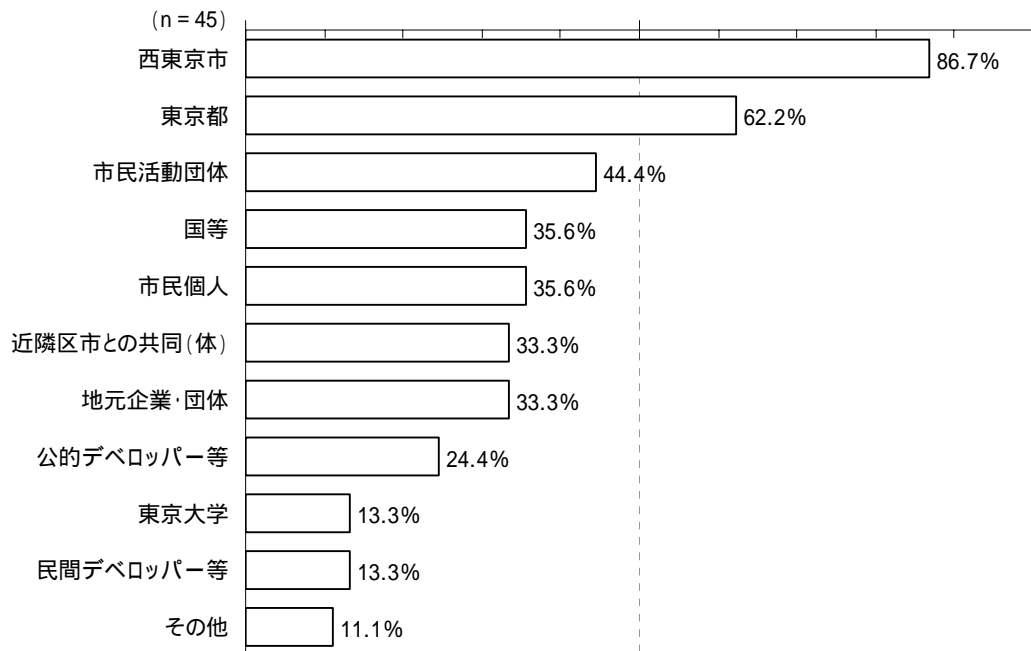


移転が生じた場合のまちづくりに重視するコンセプト（第2回Q14）

順位	重視するコンセプト
第1位	パブリックスペースとしてみどりの確保
第2位	災害拠点としての機能維持
第3位	歴史景観・価値の保全
第4位	農地機能の保全及び自然環境の維持
第5位	農地・森林と住宅とが調和した景観の創出
第6位	学習・レジャーなどの余暇活動の充実
第7位	周辺地域からの人の流入によるにぎわい
	衣・食・住の充足
	市を象徴する地区空間の整備



移転が生じた場合のまちづくりの主体（第2回Q19）



- ・ 仮定の話として、東大農場の保全のための税金の賦課・徴収について尋ねたところ、約6割が何らかの支払意思を示した。
- ・ 仮定の話として、東大農場の保全を目的とする市民参加型ファンド（基金）への寄附を尋ねたところ、約7割が何らかの支払意思を示した。
- ・ 仮定の話として、市民参加型ファンド（基金）の運営に対する人的な協力を尋ねたところ、約半数が部分的であれば活動に協力できると回答した。

7 設問及び回答数（単純集計）

(1) 第1回

Q1 ID（登録番号）を記入してください。（各回共通）

あなたと東大農場の関わりについてお答えください。（Q2～Q6）

Q2 あなたと東大農場の関わりについて、当てはまるもの全てをお選びください。

		(n=48)
1	東大農場について聞いたことがある	24 (50.0%)
2	東大農場に関心がある	34 (70.8%)
3	東大農場を訪れたことがある	32 (66.7%)
4	東大農場を訪れたことはない	14 (29.2%)

Q2で「東大農場を訪れたことがある。」を選んだ方はQ3へ、「東大農場を訪れたことはない。」を選んだ方はQ7へお進みください。

Q3 あなたの過去1年間に、遊びや運動のために東大農場を訪れましたか。

		(n=32)
1	年1回あるいは数回程度訪れた	20 (62.5%)
2	月1回程度訪れた	4 (12.5%)
3	月数回程度訪れた	4 (12.5%)
4	訪れなかった	4 (12.5%)

Q4 あなたの過去1年間に、自然や生物の観察のために東大農場を訪れましたか。

		(n=32)
1	年1回あるいは数回程度訪れた	20 (62.5%)
2	月1回程度訪れた	4 (12.5%)
3	月数回程度訪れた	3 (9.4%)
4	訪れなかった	5 (15.6%)

Q5 あなたの過去1年間に、その他の目的（Q3、Q4以外の目的）で東大農場を訪れましたか。

		(n=32)
1	年1回あるいは数回程度訪れた	12 (37.5%)
2	月1回程度訪れた	4 (12.5%)
3	月数回程度訪れた	2 (6.3%)
4	訪れなかった	13 (40.6%)
	(無回答)	1 (3.1%)

Q 6 Q 5の「その他の目的」とは何ですか。

- ・ 買い物、写真撮り
- ・ アースデイ。無人販売に買い物に。通路として。
- ・ 散歩の目的で訪れました。
- ・ 訪れようとしたが、休日の一般利用が不可のため、入ることができなかった。
- ・ 写真撮影、散歩
- ・ お花見 子供が田無保育園に通っていたので保育参観日のお散歩で。
- ・ イベントへの参加 散歩で週日は毎日のように訪れている。
- ・ 農場での農作物の購入、収穫祭、講座、お花見、ダチョウに会う為など毎日。「毎日訪れる」という項目がないのは残念です。市内の方で毎日訪れる方は多いのです。
- ・ 自然を感じるためと通り道のついでに、そして野菜を買うために
- ・ イベント、子供の散歩、花見
- ・ たまたま時間が有り 自然散策とどれくらいの人に来て楽しんでいるのかなぁと思って寄って見ました。平日の午後2時ごろでしたが、お天気はよかったのに、あまり人影はありませんでした。まだ小金井公園の方が人が集まっていると思いました。
- ・ 自宅付近にみどりが無いことから心の癒しを求めに行く
- ・ 東大農場塾の講義及び実習への参加
- ・ (1) 散歩のため(2) 市民祭りのついでに
- ・ アースデイ行事準備、展示
- ・ 散歩、ストレス発散。
- ・ 「西東京アースデー」に参加した。

あなたと演習林の関わりについてお答えください。(Q 7 ~ Q11)

Q 7 あなたと演習林の関わりについて、当てはまるものをお選びください。

	(n=48)	
1 演習林について聞いたことがある	16	(33.3%)
2 演習林に関心がある	19	(39.6%)
3 演習林を訪れたことがある	25	(52.1%)
4 演習林を訪れたことはない	20	(41.7%)

Q 7で「演習林を訪れたことがある。」を選んだ方はQ 8へ、「演習林を訪れたことはない。」を選んだ方はQ12へお進みください。

Q 8 あなたの過去1年間に、遊びや運動のために演習林を訪れましたか。

(n=25)

1 年1回あるいは数回程度訪れた	13 (52.0%)
2 月1回程度訪れた	5 (20.0%)
3 月数回程度訪れた	1 (4.0%)
4 訪れなかった	6 (24.0%)

Q 9 あなたの過去1年間に、自然や生物の観察のために演習林を訪れましたか。

(n=25)

1 年1回あるいは数回程度訪れた	16 (64.0%)
2 月1回程度訪れた	4 (16.0%)
3 月数回程度訪れた	0 (0.0%)
4 訪れなかった	4 (16.0%)
(無回答)	1 (4.0%)

Q10 あなたの過去1年間に、その他の目的(Q8、Q9以外の目的)で演習林を訪れましたか。

(n=25)

1 年1回あるいは数回程度訪れた	7 (28.0%)
2 月1回程度訪れた	2 (8.0%)
3 月数回程度訪れた	1 (4.0%)
4 訪れなかった	13 (52.0%)
(無回答)	2 (8.0%)

Q11 Q10の「その他の目的」とは何ですか。

- ・ 写真
- ・ 散歩、気分転換
- ・ 散歩の目的で訪れました。
- ・ 子供が田無保育園に通っていたので保育参観日のお散歩で。
- ・ 散歩で。
- ・ 農場のついでに自然の移ろいを感じるため
- ・ 自然散策 どの程度自然に近いのだろうか 鳥の多さや昆虫の種類など
- ・ 東大農場に訪れた目的と同じ(心の癒しを求めに)
- ・ 東大農場塾に参加したときに、観察するために訪れた。

あなたの好きな「みどりのある街」と「公園」についてお尋ねします。(Q12、Q13)

Q12 海外の例を含め、あなたの好きな「みどりのある街」とその理由を教えてください。

(いくつでも結構です。)

自由回答ページ参照

Q13 海外の例を含め、あなたの好きな「公園」とその理由を教えてください。(いくつかも結構です。)

自由回答ページ参照

平成 13 年度に実施された「市民意識調査」では、53.8%の方が地域活動への参加意向を示されています。あなたのボランティアな活動への参加についてお尋ねします。あなたは、過去 1 年間次のような活動に無報酬で参加されましたか。(Q14～Q17)

Q14 リサイクルなど環境保全のための活動

- (n=48)
- | | | | |
|---|-----------------------------------|----|---------|
| 1 | 参加しない | 35 | (72.9%) |
| 2 | 参加した(参加日数をご記入ください。
記入例：年間 日程度) | 13 | (27.1%) |
- <参加日数>
- ・ 1日(清掃) 年間1日程度 1日 昨年は1回のみ
 - ・ フリーマーケット 年間2回くらい
 - ・ 毎月1回12日(第3火曜日) 12日程度
 - ・ 24回参加(野川自然観察園の維持管理のボランティアとして8年間活動)
 - ・ 30日
 - ・ 70日(東大農場を守る活動・観桜会・アースデイ他)
 - ・ 数え切れない

Q15 町内会、消防団など地域組織の活動

- (n=48)
- | | | | |
|---|-----------------------------------|----|---------|
| 1 | 参加しない | 37 | (77.1%) |
| 2 | 参加した(参加日数をご記入ください。
記入例：年間 日程度) | 11 | (22.9%) |
- <参加日数>
- ・ 5日1日 年1回のみ(11月9日) 2、3日
 - ・ 5回(自治会の清掃・会長選出会議等) 5日程度
 - ・ 月2回 月に2回ずつ
 - ・ 年間30日以上(防犯、防災連絡会を立ち上げたため)
 - ・ 年40日 年間60日程度(ボーイスカウト)

Q16 商店会、会社、農協、PTAなど職業やお子さんの学校関連組織の活動

(n=48)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|----|---------|
| 1 | 参加しない | 38 | (79.2%) |
| 2 | 参加した(参加日数をご記入ください。
記入例：年間 日程度) | 10 | (20.8%) |

<参加日数>

- ・年間1日程度 2日 2回(納涼盆踊り大会、どんど焼き)
- ・7日 年間8日程度 年10回
- ・年間20回(PTA活動) 45日程度
- ・週1日(毎週日曜日、子供が小学生のころ少年野球チームの監督、コーチを9年間)

Q17 福祉団体などの慈善団体の活動

(n=48)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|----|---------|
| 1 | 参加しない | 43 | (89.6%) |
| 2 | 参加した(参加日数をご記入ください。
記入例：年間 日程度) | 5 | (10.4%) |

<参加日数>

- ・1日 年間5日程度(近隣市の精神障害者関連の活動)
- ・5回程度(職業病関係)
- ・年12回 50日

あなたの世帯では、過去1年以内に次のような支出をされましたか。おおよその金額をお答えください。物を寄附された場合には、おおよその値段を考えてください。(Q18～Q21)

Q18 自治体、町内会、祭りなど地域に対するご自身の賛意による寄附

(n=48)

- | | | | |
|---|-------------|----|---------|
| 1 | 1000円以下 | 24 | (50.0%) |
| 2 | 1001円～3000円 | 10 | (20.8%) |
| 3 | 3001円～5000円 | 3 | (6.3%) |
| 4 | 5001円～1万円 | 1 | (2.1%) |
| 5 | その他 | 5 | (10.4%) |

<その他>

- ・寄附していない(3件)
- ・マンションのため管理組合で寄附

Q19 ご職業やお子さんの学校に関連したご自身の賛意による寄附、協力金、賛助金
(n=48)

1	1000 円以下	24	(50.0%)
2	1001 円～3000 円	5	(10.4%)
3	3001 円～5000 円	2	(4.2%)
4	5001 円～1 万円	5	(10.4%)
5	その他	5	(10.4%)

<その他>

- ・寄附していない(3件)
- ・マンションのため管理組合で寄附

Q20 慈善団体への、ご自身の賛意による寄附(赤い羽根募金、福祉施設への寄附など)
(n=48)

1	1000 円以下	28	(58.3%)
2	1001 円～3000 円	6	(12.5%)
3	3001 円～5000 円	2	(4.2%)
4	5001 円～1 万円	4	(8.3%)
5	その他	5	(10.4%)

<その他>

- ・寄附していない(2件)
- ・福祉施設の賛助会員としての年会費 3万円以上

Q21 ご自身の賛意によるその他の寄附について、内容、おおよその金額など具体的に
記入ください。

1,000 円(程度)	2 件	地震・津波 会社で必ず他国、他県の災害支援として
2,000 円(程度)	2 件	あしなが育英会 重度障害者施設の賛助会員(年会費)
3,000 円(程度)	5 件	演劇団体 他県の子ども福祉関係の独立型社会福祉士の活動 近隣市の精神障害者関連NPOの活動 歳末助け合い運動など 地震被災地への義捐金など
5,000 円(程度)	2 件	
10,000 円	5 件	大学記念事業寄付 大学体育会寄付 歳末助け合い募金を通じた海外協力 映画作り その他カンパ

36,000 円	1 件	海外の子供の里親になって支援する団体（月額 3,000 円）
50,000 円	1 件	会議イベント、納涼会、忘年会、新年会、裁判差し入れなど
300,000 円	1 件	政治資金管理団体
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前はユニセフ ・ 卒業大学への寄付 ・ 街頭募金、心臓移植手術の募金 ・ 慈善事業ではないが、地域の少年野球のコーチを週 2 回 ・ 平日は都内に勤めに出ているのであまり地域の活動に関われない。街のために若干の支出は厭。 ・ 子供がまだいないので、あまり参加できていない

(2) 第2回

Q1 ID (登録番号) を記入してください。(各回共通)

第2回調査をはじめます。

はじめに、西東京市のイメージについてうかがいます。

Q2 西東京市の他の区市に比べて良い点、優れた点は何ですか。当てはまるものがあれば選んでください。(いくつでも可)

		(n=45)
(1)	1 都心や副都心への通勤、通学、買い物などが行きやすい。	34 (75.6%)
(2)	2 周辺区市へのアクセスが便利である。	21 (46.7%)
(6)	3 市内を移動するのに便利である。	9 (20.0%)
(7)	4 さまざまな公共施設を利用するのに便利である。	7 (15.6%)
(7)	5 市民活動が活発である。	7 (15.6%)
(7)	6 周辺区市から人が流入するなど、まちに活気がある。	7 (15.6%)
(4)	7 衣・食・住が市内で充足する。	18 (40.0%)
(14)	8 職・住が市内で充足する。	0 (0.0%)
(11)	9 学習・レジャーなどの余暇活動が市内で充足する。	4 (8.9%)
(12)	10 道路などの都市基盤が整備されている。	2 (4.4%)
(5)	11 公園・緑地などのオープンスペースが整備されている。	15 (33.3%)
(3)	12 農地や屋敷林と住宅とが混在した景観がある。	19 (42.2%)
(13)	13 多くの人々が区域をイメージできるような特徴を持っている。	1 (2.2%)
(10)	14 その他	5 (11.1%)

Q3 Q2で「14 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・落ち着いたある雰囲気のある街である。
- ・西武新宿線田無駅の北側と南側では大きな相違があり特徴的である。田無駅北口と南口周辺の景観の違いがアクセントになっている。公共施設が田無駅南側に集中していて利用し易い。合併による環境変化は考慮せず
- ・東大農場・演習林 10万坪のまちの里山的宝物がある
- ・住民の多くが親切。善意の人々という感じです。
- ・公園・緑地などのオープンスペースは十分整備されているとはいえないが、農地や屋敷林が多く、高層の建物も少ないなど、景観にたおやかな趣がある。郊外住宅地域としては、すべてにおいてまずまずの住環境である。

Q 4 西東京市の他の区市に比べて悪い点、劣っている点は何ですか。当てはまるものがあれば選んでください。(いくつでも可)

		(n=45)
(13)	1 都心や副都心への通勤、通学、買い物などが行きやすい。	3 (6.7%)
(11)	2 周辺区市へのアクセスが便利である。	8 (17.8%)
(5)	3 市内を移動するのに便利である。	19 (42.2%)
(7)	4 さまざまな公共施設を利用するのに便利である。	14 (31.1%)
(9)	5 市民活動が活発である。	12 (26.7%)
(10)	6 周辺区市から人が流入するなど、まちに活気がある。	10 (22.2%)
(8)	7 衣・食・住が市内で充足する。	13 (28.9%)
(2)	8 職・住が市内で充足する。	23 (51.1%)
(4)	9 学習・レジャーなどの余暇活動が市内で充足する。	21 (46.7%)
(1)	10 道路などの都市基盤が整備されている。	30 (66.7%)
(6)	11 公園・緑地などのオープンスペースが整備されている。	16 (35.6%)
(14)	12 農地や屋敷林と住宅とが混在した景観がある。	2 (4.4%)
(3)	13 多くの人が区域をイメージできるような特徴を持っている。	22 (48.9%)
(12)	14 その他	7 (15.6%)

Q 5 Q 4で「14 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・NPO活動は周辺市(練馬、武蔵野、三鷹などの市)と比べて大分遅れている。
- ・スポーツ施設は一部の市民だけでなく多くの市民が使えるようにしてほしい歩道が狭く、幅員4m以下の道路は、基本的に一方通行に検討すべき
- ・市営か私立でも安い幼稚園
- ・道が汚い(ポイ捨てゴミが散乱している)。また、夜間無灯火の自転車がも多く、何度も衝突しそうになりました。市民のモラルが以前住んでいた何処よりも低いと感じます。
- ・交通網が悪い。バス路線が不便で、自転車がないと生活できない。それなのに駐輪場が信じられない程不足している。料金も高い!!車の移動は道幅がバラエティに富んで狭くなったり広くなったり。これで事故が少ないのは住民のマナーがいいからです。
- ・車優先社会を排除し、歩行者と公共交通機関を優先するコンパクトなまちづくり、緑豊かな景観などに対する市民の意識。

同じ質問を 23 区隣接地域についてうかがいます。

23 区隣接地域とは、西東京市、武蔵野市、三鷹市、調布市及び狛江市の 23 区に隣接する市で構成される地域とします。いずれも人口密度は 10,000 人/平方キロメートル以上（平成 17 年国勢調査より）と、多摩地域の中でも市街地化が進んでいる地域です。

Q 6 この地域の他の地域に比べて良い点、優れた点は何ですか。当てはまるものがあれば選んでください。（いくつでも可）

		(n=45)	
(1)	1 都心や副都心への通勤、通学、買い物などが行きやすい。	31	(68.9%)
(2)	2 周辺区市へのアクセスが便利である。	19	(42.2%)
(12)	3 地域内を移動するのに便利である。	5	(11.1%)
(5)	4 さまざまな公共施設を利用するのに便利である。	12	(26.7%)
(5)	5 市民活動が活発である。	12	(26.7%)
(4)	6 周辺区市から人が流入するなど、まちに活気がある。	13	(28.9%)
(3)	7 衣・食・住が地域内で充足する。	16	(35.6%)
(13)	8 職・住が市内で充足する。	4	(8.9%)
(5)	9 学習・レジャーなどの余暇活動が地域内で充足する。	12	(26.7%)
(11)	10 道路などの都市基盤が整備されている。	6	(13.3%)
(5)	11 公園・緑地などのオープンスペースが整備されている。	12	(26.7%)
(9)	12 農地や屋敷林と住宅とが混在した景観がある。	10	(22.2%)
(13)	13 多くの人が区域をイメージできるような特徴を持っている。	4	(8.9%)
(10)	14 その他	7	(15.6%)

Q 7 Q 6で「14 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・特別に優れているものは無いと思います
- ・とても静かで住み易く、公園や寺が多く緑が多い。環境は良い場所だと思います。
- ・該当なし
- ・合併して唯一つ、友人と活動が増えた
- ・祭りなどは手作り感があってほっとする
- ・特にすぐれている点はないと思う。強いて挙げれば地価や家賃がやすいこと。ブランド力は他市の方が高い。
- ・公園・緑地などのオープンスペースは十分整備されているとはいえないが、農地や屋敷林が多く、高層の建物も少ないなど、景観にたおやかな趣がある。郊外住宅地域としては、すべてにおいてまずまずの住環境である。

Q 8 この地域の他の地域に比べて悪い点、劣っている点は何ですか。当てはまるものがあれば選んでください。(いくつでも可)

		(n=45)
(10)	1 都心や副都心への通勤、通学、買い物などが行きやすい。	6 (13.3%)
(10)	2 周辺区市へのアクセスが便利である。	6 (13.3%)
(1)	3 地域内を移動するのに便利である。	18 (40.0%)
(6)	4 さまざまな公共施設を利用するのに便利である。	11 (24.4%)
(13)	5 市民活動が活発である。	5 (11.1%)
(7)	6 周辺区市から人が流入するなど、まちに活気がある。	10 (22.2%)
(9)	7 衣・食・住が地域内で充足する。	9 (20.0%)
(4)	8 職・住が市内で充足する。	15 (33.3%)
(7)	9 学習・レジャーなどの余暇活動が地域内で充足する。	10 (22.2%)
(1)	10 道路などの都市基盤が整備されている。	18 (40.0%)
(5)	11 公園・緑地などのオープンスペースが整備されている。	12 (26.7%)
(10)	12 農地や屋敷林と住宅とが混在した景観がある。	6 (13.3%)
(3)	13 多くの人が区域をイメージできるような特徴を持っている。	16 (35.6%)
(14)	14 その他	4 (8.9%)

Q 9 Q 8で「14 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・家賃が高い
- ・合併して、特例債による箱もの建設で借金が大変
- ・車優先社会を排除し、歩行者と公共交通機関を優先するコンパクトなまちづくり、緑豊かな景観などに対する市民の意識。

東大農場、演習林についてうかがいます。はじめに、下記リンクから「東大農場、演習林の状況」を一読したうえで、質問にお答えください。

東大農場は、正式には東京大学大学院農学生命科学研究科附属農場といい、西東京市の中央部やや西に位置する面積約 22.2ha の研究教育施設です。その設立は 1935 (昭和 10)年と古く、これまで我が国における農学・生命科学研究の拠点の一つとして、数多くの学術的成果を生み出してきました。現在も大学院の研究とともに、一般学生が一般教養科目(実習科目)を学ぶ場となっています。

東大農場西側に隣接する演習林は、正式には演習林田無試験地といい、面積約 9 ha、同じく東京大学大学院農学生命科学研究科に附属する「科学の森教育研究センター」を構成する 6 つの地方演習林の一つです。こちらも 1929 (昭和 4)年設立と古く、都心キャンパスに近く土地も平坦であることから、造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されています。

東大農場はほとんどを圃場(畑)、樹木が占めており、演習林をあわせると約 30ha の空間を形成しています。現在、東大農場、演習林ともに平日昼間に一般開放され

ており、市民が気軽に散策できる緑地にもなっています。また、市街地化の進んだ市内では見られなくなった自然環境や、田園・農業的風景があり、そうした特徴を生かした市民活動の拠点として、市民と大学とが連携した生涯学習講座などが行われるとともに、市内・外の小中学校の屋外学習にも活用されています。

- 空間としての大きさ -

西東京市の面積（約1,585ha）の約2%を占めています。

西東京いこいの森公園の7倍ほどの広さです。

都立武蔵野中央公園（グリーンパーク）の3倍ほどの広さです。

都立小金井公園の5分の1ほどの広さです。

西東京市の公園や緑地としての土地利用は、この空間の2倍ほどです。

西東京市の農用地としての土地利用は、この空間の7倍ほどです。

注）土地利用現況調査（平成14年）をもとに試算しました。

西東京市の緑被率（30.2%、平成11年）のうち約2%分を担っています。

石川島播磨重工業跡地（向台町三丁目付近）の3倍ほどの広さです。

東大農場は、ひばりが丘団地（東久留米市を含む）の3分の2ほどの広さです。

防災面を見ると、東大農場、演習林は市の広域避難場所に指定されており、10万人を超える市民の災害時の避難場所です。

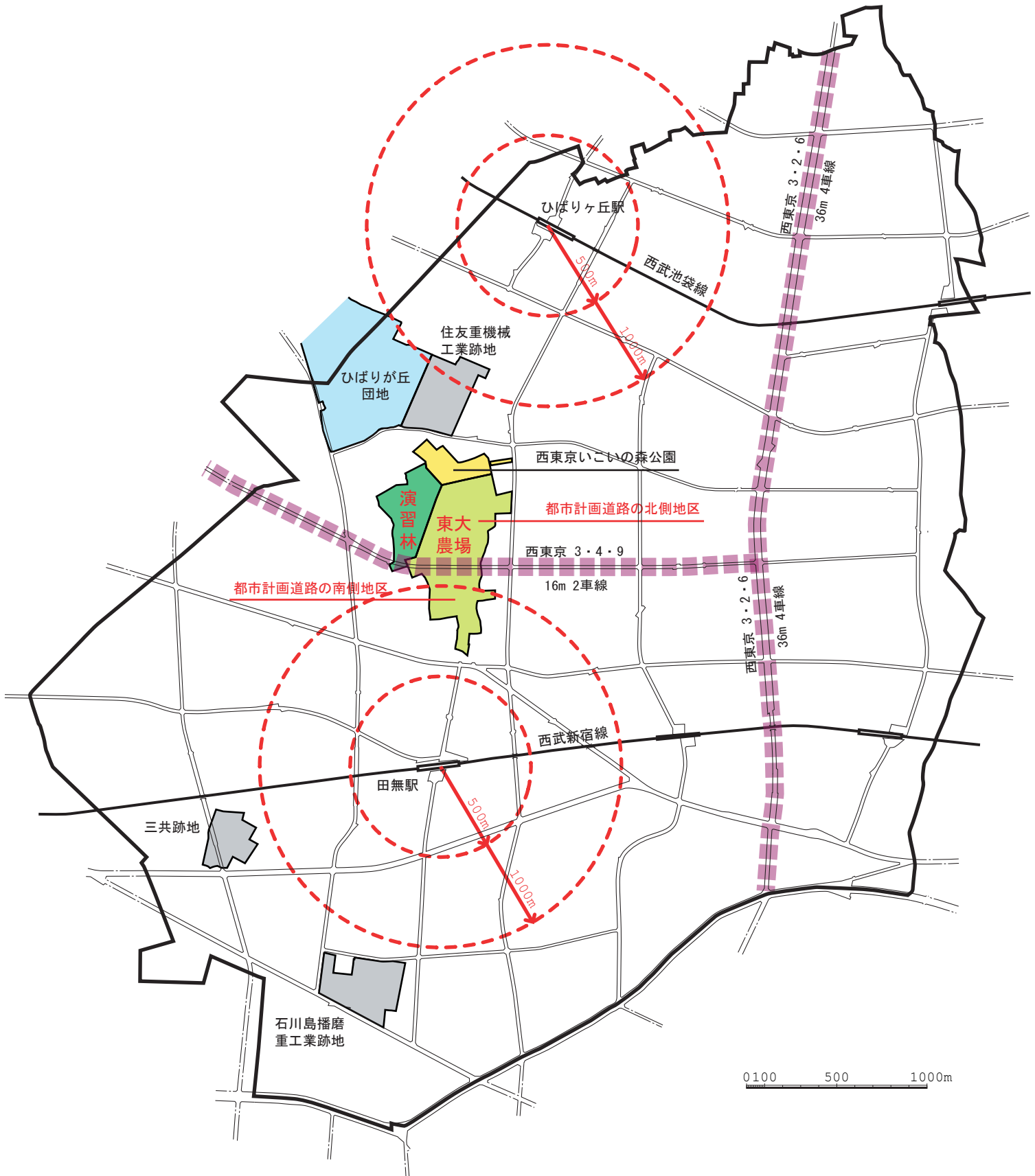
都市計画を見ると、東大農場の中央部に都市計画道路（西東京3・4・9号線、新所沢街道）が横断しています。この東西道路は、現在事業が行われている西東京3・2・6号調布保谷線（東伏見稲荷～保谷庁舎～北町を結ぶ全長約4キロメートルの南北道路）と、東久留米市、東村山市とを結ぶ幹線道路として、現在、東久留米市内では全区間で事業が進められています。

用途地域等では、都市計画道路の北側地区は、一般に都市的未利用地に適用される指定内容であり、戸建住宅などの建築敷地には適しておりません。これに対して、都市計画道路の南側地区は、大学施設が配置されており、住宅などの中高層建築物の建築が可能な指定内容です。

都市計画道路の南側地区は、西武新宿線田無駅から半径1キロメートルの範囲（この範囲を徒歩圏といいます。）に含まれ、自転車・徒歩による駅との行き来が可能です。一方、都市計画道路の北側地区は、西武新宿線田無駅、西武池袋線ひばりヶ丘駅の徒歩圏には含まれません。しかし、両駅を結ぶ公共バス路線が近くを通ることから、鉄道駅へのアクセスは比較的容易と考えられます。

説明補足図

注) 図の道路は、都市計画道路（都市計画で整備が予定されている道路）です。



Q10 「東大農場」の特徴として何をイメージしましたか。当てはまるものがあれば3つまで選んでください。

	(n=45)	
1 歴史ある景観であること	7	(15.6%)
2 みどりの空間であること	34	(75.6%)
3 都市にまれな農地であること	20	(44.4%)
4 都市にまれな森林であること	14	(31.1%)
5 市民活動の拠点であること	3	(6.7%)
6 大学キャンパスであること	9	(20.0%)
7 災害時の拠点であること	21	(46.7%)
8 土地利用の可能性があると	12	(26.7%)

Q11 「演習林」の特徴として何をイメージしましたか。当てはまるものがあれば3つまで選んでください。

	(n=45)	
1 歴史ある景観であること	10	(22.2%)
2 みどりの空間であること	32	(71.1%)
3 都市にまれな農地であること	8	(17.8%)
4 都市にまれな森林であること	26	(57.8%)
5 市民活動の拠点であること	3	(6.7%)
6 大学キャンパスであること	14	(31.1%)
7 災害時の拠点であること	11	(24.4%)
8 土地利用の可能性があると	8	(17.8%)

平成15年3月、東京大学の評議会は、現在、千葉市検見川に有するグラウンド機能を千葉県柏市内に整備中のキャンパスに移転し、グラウンド跡地に西東京市内の農場機能に移した上で跡地を売却する方針を決定しました。これは、同大学が進めている本郷・駒場・柏キャンパスに大学の諸機能を集約するという「三極構想」に基づくものです。なお、この決定に演習林は含まれていません。

平成16年4月、東京大学は独立行政法人となりました。その際、平成16～21年の6か年度の中期計画を策定しましたが、東大農場の処分について言及していません。移転の方針は、一定程度の時間を掛けて具体化するものと想定されます。

Q12 あなたは、そのような動きがあることをご存知でしたか。

	(n=45)	
1 知っていた。	30	(66.7%)
2 知らなかった。	15	(34.9%)

Q13 移転の方針に対するあなたの率直な感想としてふさわしいものを1つ選んでください。

	(n=45)
1 移転すべきではない。	10 (22.2%)
2 東京大学の問題であり、移転はいたしかたない。	7 (15.6%)
3 移転を契機にまちづくりを進めるべきである。	23 (51.1%)
4 何ともいえない。	2 (4.4%)
5 その他	3 (6.7%)

<その他>

- ・災害拠点としての役目は重大です
- ・出来れば現状を残したい
- ・宅地にせず、市民と農場の自然を生かした交流の場にすべき
- ・一つの法人が市の中心部を占有し続けるのは望ましくないことから移転にはむしろ賛成。しかし、跡地の利用については、市民の利益につながるよう慎重に検討してほしい。できれば周辺自治体等と公的に所有し、公共施設とすべきであろう。段階的な民間企業による事業展開は、市民にとってもっとも望ましくない。

東大農場の移転が具体化すれば、20haを超える跡地が出現しますが、跡地の市場価格は数百億円と推定されます。

西東京市の予算は、ここ数年、一般会計で年間600億円弱、そのうち投資的活動に振り向ける経費は10%程度で推移しています。

仮に、都市計画道路の南側地区で民間企業が住宅建設中心の跡地利用を段階的に進めた場合(ここでいう「段階的」とは、跡地利用の全体コンセプト・計画なしに、住宅建設が行われた場合をいいます)、中高層住宅で2,500~3,000人程度、戸建住宅で1,000人強程度の方が住むまちとなると想定されます。

Q14 仮に東大農場が移転するとした場合、あなたは移転後のまちづくりでどのようなコンセプトの実現を重視しますか。ふさわしいものがあれば8つまで選んでください。なお、コンセプトは跡地利用に限定せず、全市的でもかまいません。

			(n=45)
(3)	1	歴史ある景観や価値を保全するまち	23 (51.1%)
(13)	2	近隣・周辺地域への移動がしやすいまち	8 (17.8%)
(13)	3	市内移動の利便性が高いまち	8 (17.8%)
(16)	4	さまざまな公共施設を利用する利便性が高いまち (選択した方はQ16へ)	5 (11.1%)
(7)	5	周辺地域からの人の流入によるにぎわいのあるまち	11 (24.4%)
(7)	6	衣・食・住が市内で満ち足りるまち	11 (24.4%)
(15)	7	職・住の近接したまち	6 (13.3%)
(6)	8	学習・レジャーなどの余暇活動が満ち足りるまち	16 (35.6%)
(12)	9	道路・下水道などの生活基盤が整備されたまち	9 (20.0%)
(1)	10	公園・緑地・街路樹など、パブリックスペースとしてのみ どりが確保されたまち	36 (80.0%)
(4)	11	農地機能が保全された現在の自然環境の維持	22 (48.9%)
(5)	12	農地・森林と住宅とが調和した景観の創出	20 (44.4%)
(7)	13	市の都市イメージを象徴するような地区空間が整備された まち(選択した方はQ17へ)	11 (24.4%)
(10)	14	市民活動の拠点としての機能の維持	10 (22.2%)
(2)	15	災害拠点としての機能の維持	25 (55.6%)
(10)	16	大学キャンパス等の教育施設の再誘致 (選択した方はQ18へ)	10 (22.2%)
(17)	17	市内の居住人口の増加(住宅建設の推進)	3 (6.7%)
(17)	18	その他	3 (6.7%)

Q15 Q14で「18 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・東大農場が移転せずに済むよう支援する
- ・公立運動公園を作り、「西武球場」を誘致する。プロスポーツの観戦が身近にできる町づくりとなり、関東一円からの集客によるにぎわいが期待できる。

Q16 Q14で「4 さまざまな公共施設を利用する利便性が高いまち」を選んだ方のみにうかがいます。利便性を向上させたい公共施設について具体的に記入してください。
自由回答ページ参照

Q17 Q14で「13 市の都市イメージを象徴するような地区空間が整備されたまち」を選んだ方のみにうかがいます。地区整備について具体的に記入してください。
自由回答ページ参照

Q18 Q14で「16 大学キャンパス等の教育施設の再誘致」を選んだ方のみにかがいます。まちづくりに大学を重視する理由は何ですか。具体的に記入してください。
自由回答ページ参照

Q19 Q14で選んだコンセプトを実現するために、どのような主体がまちづくりの関わっていくべきでしょうか。あなたがイメージする主体を選んでください。(いくつでも可)

	(n=45)	
1 西東京市	39	(86.7%)
2 近隣区市との共同(体)	15	(33.3%)
3 東京都	28	(62.2%)
4 国(政府一般)	16	(35.6%)
5 東京大学	6	(13.3%)
6 市民活動団体	20	(44.4%)
7 市民(個人)	16	(35.6%)
8 地元企業・団体	15	(33.3%)
9 民間デベロッパー・コーディネーター(大手不動産など)	6	(13.3%)
10 公的デベロッパー・コーディネーター(都市再生機構など)	11	(24.4%)
11 その他	5	(11.1%)

Q20 Q19で「11 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・西武鉄道
- ・地域住民によるNPO活動活性化のための支援
- ・農業教育の重要性を社会的にアピールする。総理大臣・国会議員にも
- ・FM西東京、FC東京
- ・鉄道、バス事業者

Q21 移転後のまちづくりについて、具体的な提案があれば記入してください。
自由回答ページ参照

Q22 ここまで回答して、改めて東大農場移転問題に対する考え、感想などがあれば、自由に記入してください。
自由回答ページ参照

(3) 第3回

第3回調査をはじめます。

はじめに、東大農場の移転問題について改めて説明します。下記リンクから「東大農場、演習林の状況」を一読したうえで、質問にお答えください。

東大農場、演習林の状況

東大農場は、正式には東京大学大学院農学生命科学研究科附属農場といい、西東京市の中央部やや西に位置する面積約 22.2ha の研究教育施設です。その設立は 1935（昭和 10）年と古く、これまで我が国における農学・生命科学研究の拠点の一つとして、数多くの学術的成果を生み出してきました。現在も大学院の研究とともに、一般学生が一般教養科目（実習科目）を学ぶ場となっています。

東大農場西側に隣接する演習林は、正式には演習林田無試験地といい、面積約 9 ha、同じく東京大学大学院農学生命科学研究科に附属する「科学の森教育研究センター」を構成する 6 つの地方演習林の一つです。こちらも 1929（昭和 4）年設立と古く、都心キャンパスに近く土地も平坦であることから、造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の圃場実習や室内実験に多く利用されています。

東大農場はほとんどを圃場（畑）、樹木が占めており、演習林をあわせると約 30ha の空間を形成しています。現在、東大農場、演習林ともに平日昼間に一般開放されており、市民が気軽に散策できる緑地にもなっています。また、市街地化の進んだ市内では見られなくなった自然環境や、田園・農業的風景があり、そうした特徴を生かした市民活動の拠点として、市民と大学とが連携した生涯学習講座などが行われるとともに、市内・外の小中学校の屋外学習にも活用されています。

平成 15 年 3 月、東京大学の評議会は、現在、千葉市検見川に有するグラウンド機能を千葉県柏市内に整備中のキャンパスに移転し、グラウンド跡地に西東京市内の農場機能を移した上で跡地を売却する方針を決定しました。これは、同大学が進めている本郷・駒場・柏キャンパスに大学の諸機能を集約するという「三極構想」に基づくものです。なお、この決定に演習林は含まれていません。

平成 16 年 4 月、東京大学は独立行政法人となりました。その際、平成 16～21 年の 6 か年度の中期計画を策定しましたが、東大農場の処分について言及していません。移転の方針は、一定程度の時間を掛けて具体化するものと想定されます。

それでは質問に入ります。

これから質問する内容はあくまでも仮定です。

市民の皆様にご協力していただく方法として、借入の返済を目的とする税金や、ファンド（基金）を考えるとします。最初に、税金について質問します。

東大農場を購入しみどりの保全を図るために、今後 30 年間、西東京市の世帯から目的税を徴収することとします。市民の皆様の賛同が得られれば徴税し、すぐに農地の購入を始めることができます。この対策で、東大農場跡地のみどりを将来にわたって保全することができます。

東大農場を購入するため、市は 30 年で返済する借入を行います。この目的税は、借入の返済のためだけに活用します。

Q 2 今後 30 年間にわたって東大農場を購入するための目的税として税金を徴収するとします。あなたの世帯で毎年 3,000 円の新たな税金の支払いに応じていただけますか。(いずれか一つ)

	(n=40)
1 はい (Q 4 へお進みください)	19 (47.5%)
2 いいえ (Q 3 へお進みください)	21 (52.5%)

Q 3 Q 2 で「2 いいえ」を選んだ方にうかがいます。それでは、毎年 2,000 円なら支払いに応じていただけますか。(いずれか一つ)

	(n=21)
1 はい (Q 4 へお進みください)	4 (19.0%)
2 いいえ (Q 5 へお進みください)	17 (81.0%)

Q 4 Q 2、Q 3 で「1 はい」を選んだ方にうかがいます。具体的に年間いくらまで支払っていただけますか。

Q 2、Q 3 とあわせた回答結果

(n=23)		(n=23)	
10 円	1 件	10 円	1 件
1,000 円	2 件	1,000 円	2 件
1,500 円	1 件	1,500 円	1 件
2,000 円	1 件	2,000 円	1 件
3,000 円	3 件	3,000 円	8 件
3,600 円	1 件	3,600 円	1 件
5,000 円	6 件	5,000 円	6 件
6,000 円	2 件	6,000 円	2 件
30,000 円	1 件	30,000 円	1 件
(回答なし)	5 件		

Q 5 Q 3で「2 いいえ」を選んだ方にうかがいます。あてはまる項目を選んでください。
(いずれか一つ)

- (n=17)
- | | |
|--|------------|
| 1 もっと税金が安ければ支払いに応じる。 | 3 (17.6%) |
| 2 東大農場のみどりの保全是必要ない。 | 0 (0.0%) |
| 3 東大農場のみどりの保全是必要であるが、増税により
行うことには反対である。 | 13 (76.5%) |
| 4 その他 | 1 (5.9%) |
- <その他>
- ・税金徴収金額が先に提示されていて、徴収金額の根拠が不明な為。
納得が行く説明をすれば市民は理解するはず。

Q 6 Q 5で「1 もっと税金が安ければ支払いに応じる。」を選んだ方は具体的に金額(年額)を記入してください。

Q 2、Q 3、Q 4とあわせた回答結果

(n=3)	(n=25)																										
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">500 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">1,000 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">(回答なし)</td><td>1 件</td></tr> </table>	500 円	1 件	1,000 円	1 件	(回答なし)	1 件	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">10 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">500 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">1,000 円</td><td>3 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">1,500 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">2,000 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">3,000 円</td><td>8 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">3,600 円</td><td>1 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">5,000 円</td><td>6 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">6,000 円</td><td>2 件</td></tr> <tr><td style="text-align: right; padding-right: 10px;">30,000 円</td><td>1 件</td></tr> </table>	10 円	1 件	500 円	1 件	1,000 円	3 件	1,500 円	1 件	2,000 円	1 件	3,000 円	8 件	3,600 円	1 件	5,000 円	6 件	6,000 円	2 件	30,000 円	1 件
500 円	1 件																										
1,000 円	1 件																										
(回答なし)	1 件																										
10 円	1 件																										
500 円	1 件																										
1,000 円	3 件																										
1,500 円	1 件																										
2,000 円	1 件																										
3,000 円	8 件																										
3,600 円	1 件																										
5,000 円	6 件																										
6,000 円	2 件																										
30,000 円	1 件																										

Q 7 ここまでの質問は答えやすかったですか。(いずれか一つ)

- (n=40)
- | | |
|------------|------------|
| 1 答えやすかった。 | 26 (65.0%) |
| 2 答えにくかった。 | 14 (35.0%) |

Q 8 ここまでの調査内容でわかりにくい点はありませんか。(あてはまるものすべて)

(n=40)

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1 東大農場の現状の説明がわかりにくかった。 | 6 (15.0%) |
| 2 どの程度の東大農場のみどりが保全されるのかわかりにくかった。 | 23 (57.5%) |
| 3 東大農場のみどりの保全のために増税をするとの仮定が信じられなかった。 | 15 (37.5%) |
| 4 たずねられた内容は、金額になおしづらかった。 | 15 (37.5%) |
| 5 調査者の反応が気になった。 | 5 (12.5%) |
| 6 その他 | 5 (12.5%) |

Q 9 Q 8で「6 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・計画道路用地の買収は、都も入るのか、説明が不足している。
- ・買うなら幾ら税金を払えるか、と言うのは短絡的で、他の選択枝を無視している。質問者に、悪用されそうです。
- ・質問に答えやすくするために一律に1世帯3000円としたのですが、あまりにも安易で乱暴すぎます。
- ・結果として、借入の返済を目的とする税金徴収や、ファンド(基金)を作る調査のように思われる。調査の目的を第一回の時点で明示すべきだ。
- ・東大農場が存続してくれるのが、若者の教育になり国家的にも有意義
- ・30年間の設定に無理がある。

ご回答いただきありがとうございました。目的税を徴収するという仮定での質問はこれで終了です。

別の質問を行います。

この質問の内容もあくまでも仮定です。

東大農場に関連して、市が出資し市民の皆様が主体となって運用を行なうファンド(基金)を立ち上げることにします。このファンド(基金)の事業としては、以下を想定します。

- 1 東大農場の一部を購入し、その維持管理を行う。
- 2 東大農場に限らず、環境やまちづくりに関連する市民活動に補助を行う。
- 3 個人や企業に会費や募金などの方法で寄附を依頼し、資金を集める。

このファンド(基金)は、環境保全やまちづくりのための市民活動が自主的かつ安定的に行われるための仕組みとして設立するため、その原資を極端に損なうことのないようあらかじめルールを定めた上で、市民組織に運営を委任します。

市は、ファンド(基金)の設立当初に出資する以外は、定期的なチェックを行うのみとします。

Q10 もし、あなたがファンド（基金）を運営する市民組織から会費・募金などの方法で寄附の依頼を受けたとき、1年間にいくら支払っていただけますか。なお、Q9までの目的税の負担はなかったものと考えてください。（いずれか一つ）

(n=40)

1 支払わない。(Q11へお進みください)	11 (27.50%)
2 500～1,000円	10 (25.00%)
3 1,001～3,000円	10 (25.00%)
4 3,001～5,000円	3 (7.50%)
5 5,001～10,000円	3 (7.50%)
6 10,001～30,000円	2 (5.00%)
7 30,001～50,000円	0 (0.00%)
8 50,001～100,000円	0 (0.00%)
9 100,001円以上(「毎年 円」というように具体的な金額を記入してください。)	1 (2.50%)

<記入>

- ・どうしても必要が出来たとき市の保証あると良い

Q11 Q10で「1 支払わない。」を選んだ方のみにうかがいます。「支払わない」とした理由を選んでください。(あてはまるものすべて)

(n=11)

1 東大農場などのみどりの保全を図る必要はない。	0 (0.0%)
2 東大農場などのみどりの保全は大切だが、自分が寄附をする必要はない。	3 (27.3%)
3 ファンド（基金）の運営内容に納得できない。	4 (36.4%)
4 ファンド（基金）の説明がよくわからなかった。	4 (36.4%)
5 その他	5 (45.5%)

Q12 Q11で「5 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・市民債を考えて見てはどうか。
- ・緑や自然は大切で必要だと思いますが、他の市で実施している実例を聞いたことが無いので、抵抗があります。
- ・市民組織に寄付をするかどうか、具体的にどのような市民団体かわからないのに答えようがないです。
- ・市議の定員を10名程度にする等の合理化、その他の合理化で資金を捻出する。
- ・昨今の時流からファンド（基金）運用が財団法人であれば市民は納得しないと思う。
- ・基金を税で何とかするのはいいが、特定の善意をメインにするのは緑の重要性を市民に訴えるには力不足

もし、東大農場などのみどりを保全するために、次のような取組み（Q13、Q14が始まるとしたら、あなたが払ってもよい金額はどうなりますか。Q10 で選んだ金額と比べながら選んでください。

Q13 屋敷林など個人所有地の寄贈の申出を受けたことから、今後は、新たにそうした寄贈も受けて維持管理を行うこととした。（いずれか一つ）

(n=40)

- | | | | |
|---|------------------|----|---------|
| 1 | まったく支払いたくない。 | 14 | (35.0%) |
| 2 | もっと低い額なら寄附してもよい。 | 11 | (27.5%) |
| 3 | 寄附してもよい額は変わらない。 | 12 | (30.0%) |
| 4 | もっと高い額を寄附してもよい。 | 1 | (2.5%) |

Q14 ファンド（基金）の運営者では、東大農場を活用した新たな地域循環型ビジネスの開拓に成功し、その事業収入をファンド（基金）に充当しながら活動を行なうようになった。（いずれか一つ）

例えば、地域から出るゴミから堆肥をつくり、それを使って植物を栽培・販売するといった取組みをイメージしてください。

(n=40)

- | | | | |
|---|------------------|----|---------|
| 1 | まったく支払いたくない。 | 12 | (30.0%) |
| 2 | もっと低い額なら寄附してもよい。 | 11 | (27.5%) |
| 3 | 寄附してもよい額は変わらない。 | 13 | (32.5%) |
| 4 | もっと高い額を寄附してもよい。 | 2 | (5.0%) |

Q15 ファンド（基金）を運営する市民組織では、運営に協力してもらえる市民を数多く求めています。もし、活動への協力を求められたらあなたはどのようにしますか。（いずれか一つ）

(n=40)

- | | | | |
|---|-------------------|----|---------|
| 1 | 本格的に運営活動に関わる。 | 1 | (2.5%) |
| 2 | 部分的であれば活動に関わる。 | 22 | (55.0%) |
| 3 | 寄附などの金銭的な協力までである。 | 7 | (17.5%) |
| 4 | 寄附を含めて協力しない。 | 6 | (15.0%) |
| 5 | その他 | 3 | (5.0%) |
| | （無回答） | 1 | (2.5%) |

<その他>

- ・西東京市で11月からごみ処理代金の有料化が囁かれています。それが寄付することにより緩和されたりの特典があるならば納得は出来寄付歓迎です。
- ・いきなりファンドという考えに賛成できない
- ・勉強不足でよく理解できません。もう少し検討してみなければ、なんと答えられません。

Q16 Q10 からQ15 までのファンド（基金）に関する質問は答えやすかったですか。（いずれか一つ）

(n=40)

- | | |
|------------|------------|
| 1 答えやすかった。 | 20 (50.0%) |
| 2 答えにくかった。 | 20 (50.0%) |

Q17 Q10 からQ15 までのファンド（基金）に関する調査内容でわかりにくい点がありましたか。（あてはまるものすべて）

(n=40)

- | | |
|--|------------|
| 1 どの程度の東大農場のみどりが保全されるのかわかりにくかった。 | 20 (50.0%) |
| 2 東大農場のみどりの保全のためにファンド（基金）を設立するとの仮定が信じられなかった。 | 12 (30.0%) |
| 3 たずねられた内容は、金額になおしづらかった。 | 19 (47.5%) |
| 4 調査者の反応が気になった。 | 3 (7.5%) |
| 5 その他 | 8 (20.0%) |

Q18 Q17 で「5 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。

- ・わかりにくい点はなかった
- ・どんな人が運営するのかなど、運営形態が理解しにくかった
- ・環境ビジネスというモデルが判らなかった。非営利団体のようなものなのか、学術的な団体なのか、それとも単なる事業者なのかで寄付するかどうかが決まると思う。
- ・Q14の意味がわかりません。事業が成功（仮定）しているのになぜまだ寄付を？還元される事はないのですか？
- ・質問の意図する内容がわかりにくい。
- ・何でもかんでも緑なら残さないといけないとは思ってないので基金の事業範囲が分らない。
- ・東大農場跡地の購入についての購入金額がいくらかかり、その返済計画の提示がないため、理解できない。また、そこまで詰めていないのではないかとと思われる。
- ・市民債の発行検討を促したい。
- ・不安定な時代、基金を出すのは銀行に預けるよりみどりに投資したいが市の保証をしてほしい
- ・運営方法がうまくいくか不安。市民組織による地域ビジネスはリスクと軌道にのるまでに時間がかかる。地域活動として市民が運営していけるか疑問。学校の地域活動の一環とするなど、継続的な協力が必要と考える。

ご回答いただきありがとうございました。ファンド（基金）を設立するという仮定での質問はこれで終了です。

Q19 現在の東大農場を地域資源としてどのように生かしていくかは重要な課題です。アンケートに回答してみて、東大農場の地域資源としての効果的な活用方法について、あなたの提案があれば記入してください。

自由回答ページ参照

Q20 ここまで回答して、改めて東大農場の移転問題に対するあなたの考え、感想などがあれば、自由に記入してください。

自由回答ページ参照

8 自由回答

(1) 第1回

Q12 海外の例を含め、あなたの好きな「みどりのある街」とその理由を教えてください。
(いくつでも結構です。)

- ・コタキナバル(マレーシア) 街路樹の美しい街の風景
- ・代々木、新宿、原宿 まとまった緑地・林のある地区
- ・日光 杉並木が良い
- ・かつて台東区、世田谷区、練馬区で勤務したことがあるが、世田谷・練馬の公園が好きである。本市にも参考となる町並みがある。理由としては、農地から生まれた町並みがなんとも泥臭いところがよい。
- ・軽井沢です。冬にはスキーで夏には観光やショッピングで良く行く場所ですが、生い茂る緑が多い安らぐ場所だと感じています。東京ですと、前職の近くですが、立川と武蔵村山境の武蔵砂川のあたりです、ここは桜の木が道路両側に時期ずれ片道路ずつ咲き乱れる長い時期観賞でき、その道路を抜けるとイチヨウの大きな木が立ち並んでいます。毎日の様に自転車で通る場所ですととても深い印象に残っています。
- ・私は、シンガポールに4年間住んでいましたが、緑と近代建造物、歴史という調和が素晴らしい国です。西東京もそのような都市になって欲しい、なれる都市だと信じています。
- ・鎌倉・・・自然と歴史的なものも多いから。
- ・「青山通り」・・・道路の両側に街路樹が続き、とてもロマンチック。「国立」・・・駅付近から、緑と 専門店が立ち並びマッチしている。小売店でも、気軽に入店しウインドーショッピングが楽しめる。
- ・朝霞市
- ・広島県東広島市。もともと緑豊かな街ですが住宅街にもみどりの配慮を忘れず、小規模市だが住民はとても生活しやすく、自然に触れ合いたいと思ったら、川も山も湖も豊富にある。そして市全体が清潔感ある。あれこそ「みどりのある街」だと思います。
- ・北海道、札幌。買い物も便利で、都心にも大通り公園など緑がたくさんあるから。季節ごとに公園で催しがあり、昼時にはサラリーマンやOLなどがお弁当をひろげたり、写生を楽しむ人たちもいるから。
- ・緑豊かな街・生活環境は、心の安らぎや健康増進に寄与するものと信じます。アメリカ(ポートランド)、ニュージーランド(クライストチャーチなど)
- ・街道に沿って並木が綺麗にたっている、阿佐ヶ谷の杉並街道が好きです。とても気持ちのよい道で、気分も爽快になります。大きな道沿いに大きな木がトンネルのように並んでいるのが、気持ちを落ち着かせてくれます。
- ・早朝の新鮮な空気が違うため、みどりのある街が好きです。特に長野市が一番、空気を吸うだけで癒される場所だと感じています。
- ・アッシジ(イタリア) 街から見下ろした時に見えるオリーブ畑が圧巻。
- ・国立市(緑が町に調和していると思われるから)

- ・仙台市街 街路樹が一部ではなくかなり長い距離で続いている
- ・武蔵野市、三鷹市、小金井市 よい公園やグリーンロードがある
- ・街路樹を増やし、各家庭にも植樹を奨励する。公園は小さなものを沢山造るより、ある程度規模の大きな広葉樹木の植栽が多いものが望ましく、又、あまりいろいろな設備は不要である。「みどり」の多さは心の豊かさと安定を醸成し、街路樹は排気ガス等公害の防止に役立ち、公園は森林浴による心身的効果と広域避難場所として有用であると考えます。
- ・広い道路と、街路樹のある街並みが好きです。シンガポールや日本の湯布院が女性に人気がある理由のひとつに広い通りと建物を覆い隠すほどの深い緑の街路樹の存在があります。
- ・埼玉の鳩山ニュータウン 並木道、広い歩道、電柱の無い道が美しい
- ・住宅街は街路樹や花壇のある歩道が完備し、散歩程度はわざわざ公園まで出向かなくても可能な街。
- ・先日、NHK テレビで放映されていた『ゲリラガーデナーは真夜中に活躍する～イギリス ロンドン [2006.12.10 放送]』NHK ホームページより http://www.nhk.or.jp/eurkodawari/archive/archive_20061210.html 放置されて荒れ果てたままになっている公共の花壇や植え込みを、自分たちで勝手に手入れして美しい花壇に変身させるボランティアたちの話です。放送を観て、このように市民が手軽に参加できる仕組みができる文化はうらやましいと感じました。「みどりがある街」は市民みんなが参加してあるいは呼びかけて出来る街だと思います。
- ・東久留米市 自然がたくさんあって、川沿いには桜並木があるので、春はとてきれいで、夏はみどりにおおわれるため。実家があり、なじみが深いため。
- ・吉祥寺 井の頭公園（緑と池がある）
- ・ロンドン セントラルパークがある
- ・シンガポール 近代的な都市国家でもあるが、シンガポール zoo など、熱帯雨林のありのままの姿も共存している。
- ・特定して好きな「みどりのある街」はありません。私が現在生活している西東京市こそ「みどりの多い、気持ちの良い風がそよぐ街」であって欲しいと願っています。毎日の暮らしの中で感じるささやかな心地よさを大切にしたいからです。美しい街路樹に四季の移ろいを感じる事ができる街がいいなあと思います。
- ・福岡市の街が好きです。海・山がそんなに時間をかけなくても行くことが出来、自然の中に身を置くことができる場所です。
- ・フェラーラ市（伊）人口13万人：世界遺産、フライブルグ市（独）人口20万人：環境都市、ヨーク市人口16万人：サイクルシティ、ミュンヘン（独）歩行者専用道路ほか
- ・青梅市(旧青梅町)。手軽に散策できる山が多い。
- ・アイルランドの町や村の全部（メルヘンの世界のように緑がいっぱい）
- ・小平市（都立小金井公園が近く玉川上水もあり、グリーンロードが市内のどこからでも行くことが出来緑が多い）
- ・昨年行った所では1）札幌のまちは、整然としておりみどりが多い。大通公園。藻岩

- 山。植物園など。2) 旭川のまちは、散歩の出来るまちで、お寿司が美味しいし、旭山動物園があり楽しい。3) 函館「五稜郭」・展望台への道 海の幸が美味しい。
- ・新婚旅行で行ったグアムでは日系人の観光農園でまあまあ楽しめました。果物が楽しめました。
 - ・奈良市 古跡を保存する為に必然的にそうなったのでしょうか。
 - ・外国では特定できませんが ドイツの各都市の少し離れた郊外。
 - ・ドイツの街：何処に行ってもみどりをだいにしている。庭の木を切るのにも届けがあると聞いている。自然を大事に国民の意識も高いので、見習うべきだと思う。
 - ・青梅市 吉野梅林 吉野地区 街を散策しながら春を感じさせてくれる、また歩道の所どころにたのしい案内図や梅をかたどったマンホールのフタなどもたのしい、地域住民が一つになって観光客を迎えてくれているのが良い
 - ・十和田市、盛岡市、奈良市、バンクーバー、バーミンガム
いずれも居住区とみどりの部分がしっかりと溶け込んでいる。また住民のみどりを愛する様子が伺える。
 - ・表参道 道路が広く、建物が高くない。街路樹とそれらがマッチしている。
 - ・みどりと言えるか、わかりませんがスイスという国が好きです。駅前こそ、賑わっていますが、少し入れれば緑だらけです。以前、23区内に住んでいて、真夏の正午前後には、毎日のように光化学スモッグ注意報が出て、子供達は、外では遊べないことが多かったです。そうならない為にも、東大農場は、自然の形で残して頂きたいと思います。
 - ・海外：テヘランの中央通り（道の両側に延々と街路樹があり、根元を、北部の山岳からの水が走り、清涼感あり）
 - ・国内：武蔵野市市役所前（桜並木） 東京・表参道（美しいケヤキ並木とブチック・レストラン・商店の組合せ）
 - ・並木道が続く街（例）府中駅前、武蔵野市中央通り、成蹊学園 散歩していて気持ちいいから心が和みます。自然を感じられる。
 - ・パリ 歩道が広く歩行者が気持ち的にもゆとりを持って歩ける上に、街路樹がいつも青々として手入れが行き届いている。
 - ・1．従来からある自然の中に、又はそれを利用した緑のある街の例
日田、熊本、長野、高山、富良野、津和野、シャーロット、プロビデンス、バンフ、ベルン、ジュネーブ、グラナダ、コタキナバルなど
 - ・2．人工の公園や待ち造りによる緑の美しい街の例
倉敷、札幌、サンクトペテルブルグ、サンディエゴ、ソチミルコ、プロビデンスなど
 - ・3．好きな理由：自然の保全、管理に手間ひまかけている。調和が取れている
 - ・< 吉祥寺 >
 - ・交通や駅周辺の買い物にも便利で、「井の頭公園」の緑を楽しめるところ。
 - ・商業&住環境の整った街として価値が高い。
西東京市への希望
 - ・吉祥寺のような価値の高い街にするためには、駅周辺のさらなる発展と緑の保全が必要だと感じます。東大農場跡地が単なる住居になってしまえば、駅から離れた場

所は住民だけが暮らす活気のない街になると思います。駅から公園へ、他区・他市からも人を呼び込めるような開発ができれば、たとえ土地が高くてもおのずと住民は増えていくと思います。また、超高齢社会を迎えるにあたり、老人ホームや介護施設などを公園と併設するのもいいと思います。そうすれば、長く住み続ける人にとって価値のある街になると思います。近くにそういった施設が少ないので是非誘致して欲しいと思っています。長い目でみた土地の活用を期待しています！

- ・葛西の臨海公園周辺。広い空間、みどりおおい、大自然とふれあいでできる。
- ・ 1 小金井公園 2 多摩湖自転車道
- ・ 京都・・・四季折々の緑の美しさ

Q13 海外の例を含め、あなたの好きな「公園」とその理由を教えてください。(いくつでも結構です。)

- ・ 井の頭公園 自然林に近い林帯の存在
- ・ 台原森林公園(仙台) 住宅街からも遠くない立地
- ・ 沖縄海洋公園 ゆったりしており、めずらしい木がある
- ・ ニューヨークのセントラルパーク、小金井公園などが好き。あまり拘束的なルールがないことである。
- ・ 昭和記念公園(立川市) 公園へのアプローチが、利便性が高い
- ・ 15年ほど前に訪れたハワイマウイ島です。公園の名前は覚えていないのですが、私はスキューバダイビングをしております、その公園の場所からビーチエントリーで幼馴染の友達とダイビングを楽しんだ場所です。2ダイブ目の間の休憩時間にその公園でランチをし、ベンチに寝転がり、雲一つ無い青空を見上げ広い敷地でゆっくり時間が流れる心地良い時間を過ごしたことがあります。とても印象に残っています。
- ・ 緑と木陰がうまくマッチした公園が欲しいです。緑を減らすことは絶対やめるべきだと思います。
- ・ 古城公園(富山県高岡市)・・・城跡が自然と共に整備され、かつ、多くの文化施設もあり、落ち着く場所だから。
- ・ 千葉県富津市の岬にある国定公園・・・海辺にあり、多くの木々に囲まれて空気がよく、散歩コースも整備されているから。
- ・ 「小金井公園」・・・子供がまだ小さい時、自転車を貸し出してくれるコーナーがありよく行った。春は、桜が見事！！
「昭和記念公園」・・・広くて、四季折々季節のお花なども楽しめる。
「いこいの森」・・・近所なので、ウォーキングをしている。夜も、皆さん歩いていて気軽に行ける。
- ・ 和光樹林公園
- ・ 武蔵野中央公園のような広い敷地の清潔感ある公園。今生後5ヶ月の息子がおりますが出産前夫婦二人でのんびり出かけた運動できる公園が欲しかった。近所には大人だけで行く雰囲気のある公園はなくなっていました。またこれから子育てをするにあたって武蔵野中央公園のように子供がのびのび走り回って遊ぶことができる広い場所

があったらいいなと思います。また、清潔感のある公園なので、ゴミは持ち帰るという精神を教えることができると思う。また様々な人が訪れているので出会いの場としても有効だと思います。

- ・パリのヴァンセンヌの森。都心から遠くないところにある大きな公園で、週末など遠出しなくても十分に自然を体感できるから。
- ・ロンドン、ハイドパーク。街の中心地にあり。大規模で歴史の重みを感じられる。
- ・ポートランドOR、ローズガーデン。バラの花のみであるが、大規模です。
- ・昭和記念公園（立川市）が好きです。とても綺麗に整備されていて、特にトイレがとても綺麗なのが公園とは思えません。公園の課題はトイレだと思えるからです。
- ・サンスーシー（ドイツ：ポツダム） 手入れされたブドウ棚が美しく、安全で綺麗な公園だから。
- ・井の頭公園（とても素敵だから）
- ・昭和記念公園 水場が多い とにかく広い
- ・小金井公園・・・なんといっても地元。それに武蔵野江戸丸団をはじめ、子どもを育てるコミュニティがすばらしい
- ・ 小金井公園 近隣にあり規模が大きく広葉樹の植栽が多い。有事の広域避難場所として利用できる。スポーツ施設・ドックラン・遊戯施設等の設備が整っている。
野川公園 自然が生かされており川の流れもあってゆっくりと寛げる 雰囲気がある。自然観察園があり国分寺崖線（はげ）を含め武蔵野の面影が十分残っている。
- ・神戸のメリケンパークと三鷹の井の頭公園が好きです。あと公園ではないが皇居も好きです。いずれも駅からのアクセスが良く、公園までのアプローチが楽しい。昭和記念公園も捨てがたいが有料なのがマイナスポイント。
- ・（埼玉森林公園） 人口的でない自然な景観、整備された自転車専用道路など
- ・和光樹林公園。（理由）樹木が多くジョギング・散歩道が完備している。以前は無料駐車場があり、公園からの距離とあまり無関係に利用できたので特に良かった。
- ・皇居周辺：以前職場が千代田区麹町にあり昼休みに良く訪れた。みどりのある公園は精神的健康を維持する為には不可欠です。
- ・井の頭公園：以前住まいが三鷹にあり井の頭公園は良く訪れた。日曜日ともなると大道芸の人たちなどが集まり社会文化の醸成に役立つ。また、地域コミュニティ活動の場が手軽に経験できる。
- ・昭和記念公園：ここでは公園に関して全ての機能があり実家の近く利用します 公園に対する重要な要素は市民が手軽に利用できる公園だと思います。
- ・大泉中央公園 広くて、子供がのびのびとあそべそうのため。
- ・昭和記念公園 子供が遊べるようになったら、絶対連れて行きたい場所。広くて、ボートなどもあり、なおかつ、自然もたくさんあるため。
- ・セントラルパーク 芝生がきれい。
- ・アメリカの「イエローストーン」が好きです。あれほど雄大な自然に恵まれた公園は初めてでした。また、そこを訪れた人達と一緒にあって、自然を楽しんでいるように

感じたからです。

- ・住宅街にある名もない小さな公園も好きです。子供達が遊んでいたりと、お年寄りがのんびり日向ぼっこをしていたりすると、心が和みます。
- ・一番身近な関公園です。毎日犬の散歩で訪れていますので、四季の移り変りを感じる事の出来る所です。植えられている木はかなりの年月が経っているようで、堂々としています。それぞれの木が花を咲かせたり、実を付けたり、毎日歩いていても飽きない公園です。
- ・ハイパーク、リージェントパーク、リュクサンブール公園、セントラルパーク・・・東京都真意ありながら、多様なニーズに対応している。
- ・小金井公園。近くにあり、広くて、色々な面を持っている。
- ・都立小金井公園 昔、東宮御所があっただけあり、桜も緑も多く四季を通じて憩いの場として最高の公園です。
- ・市内にあるので、せせらぎ公園・憩いの森公園・小金井公園。海外には沢山素敵な公園やお城のあるところもありますが身の丈で、西東京市では、東大農場・演習林は、市民にも開放され、牧歌的雰囲気や札幌の面影もあり「まちの里山」として公園ではないが、市民の宝物でありホット安らぎの場である。丸ごと次世代まで残したい宝物であり、東大の先生方を市民が応援する必要がある。特に、都市計画道路3・4・9号線は、凍結中止しなければ、農場の存続はおぼつかなくなります。
- ・海外留学で滞在した、イギリスの Bournemouth のビーチに近い公園。昼間や休日になると芝生の上でくつろいだり、プラスバンドの演奏が聴けたり、パレード、移動遊園地が来たりした。
- ・六義園・・・薬草が多い。近くでは都立神代植物公園・・・バラが好き
- ・外国ではUSA エバーグレイズ国立公園・・・自然をそのまま残した感じ。自然の動植物の生態が見られる事。
- ・小田原城址公園 季節の花豊富 樹木」が多い。公園内に変化がある
古河庭園 近代の建物とよく整備出来ている造園
東京の公園をたくさん歩いていますけどどれも良いところそうでもないところとあり、みんな好きでえらべないです。
- ・武蔵野市・木の花小路公園 小さい公園ながら多様な住民のニーズに合わせた心温まる公園である。
- ・スペイン・グエル公園 ガウディの奇抜な作品で覆われ、来場者は楽しい気分になる。
- ・国内 新宿御苑、代々木公園 海外 ケンジントン、パーク公園
広く、樹の面積が広く、また芝生があり、水辺も美しい。
- ・海外：ウイーン：シェーンブルン宮殿・庭園（広大、色彩感のある景観）、アメリカ・グランドキャニオン国立公園（雄大な絶壁と壮大な景観）
国内：新宿御苑（広大、花木が多彩）、くじゅう国立公園（広大な自然を満喫できる）
- ・井の頭公園 武蔵野の杜の面影があるから。西洋式の明るい公園よりもうっそうとした林のある公園がよい。
- ・子供がいるので緑一杯の公園は貴重で、その中での遊びはとても大事だと思う。大人も気軽に利用できる公園なら自然に人間関係も生まれるのではないかと思う。

- ・パリ郊外の「ソー公園」。代々木公園のように芝の広がる場所とヴェルサイユ宮殿式庭園が広がる部分を併せ持っているが、日本の公園のように遊戯施設も売店も無く、緑を楽しむだけの空間として存在している所が魅力です。
- ・公園名を覚えている所となるとセントラルパークだけ。
 - 1．管理に手間ひまかけていて、調和がとれている。
 - 2．散歩道やジョギングコースが程よくとってあり、市民が楽しみながら健康維持に努められる。
 - 3．騒音の出るような遊具、遊び場は一切無い。
- ・ < 小金井公園 >
 - ・ 広大な芝生で自由に遊べるところ。
 - ・ 造り込んだ公園でないところ。
 - ・ 犬も遊べる公園。
- ・ < 光が丘公園 >
 - ・ テニスの壁打ちができ、大人も楽しむことができる。

「いこいの森公園」は子供が中心なので、是非大人も楽しめるように"テニスの壁打ち"できる場所を造って欲しいです。(「井の頭公園」は芝生がないのが残念です。)
- ・ 新宿御園(ひろい) 六義園(都市中の田?)
- ・ 小金井公園、多摩湖自転車道とも四季を通じ「ほっと」できる。自然のいづきを感じ勇気を与えられる。
- ・ 日比谷公園・・・四季の花々と大きな樹と図書館・音楽堂・レストラン・噴水等の設備が整っていること。

(2) 第2回

Q16 Q14で「4 さまざまな公共施設を利用する利便性が高いまち」を選んだ方のみにうかがいます。利便性を向上させたい公共施設について具体的に記入してください。

- ・スポーツ施設の拡充 グループで利用できる施設はあるが、個人ベースで自由に利用できる（例 小金井体育館）場所がない。これからは、団塊の世代の利用も増えると予想されるので、早急に検討の上対応して欲しい。
- ・公共施設、スポーツグラウンドなど市の中心部とする
- ・無料の駐車場付の公園、図書館
- ・現在の中央図書館は三鷹武蔵野に比べ蔵書数も少なく、駐車場もないなど改善が必要。また陸上競技などが可能な大きなグラウンドも整備が必要。市内各所からアクセスしやすいよう各施設とも駐車場を設置して欲しい。
- ・イベント会場
- ・ネイチャーワールドの施設

Q17 Q14で「13 市の都市イメージを象徴するような地区空間が整備されたまち」を選んだ方のみにうかがいます。地区整備について具体的に記入してください。

<維持・保全>

- 1 緑の保全
- 2 このような空間は再び入手することは不可能なので、市、都、または回りの市と共同して何らかの方法で購入し、あまり手を加えないで現状のまま残すようにする。
- 3 西東京市は農地（畑）が多く残されている。農家と周辺住民が手軽に交流を行えるような地域空間（農業体験など）が出来る都市になると個性的な街になると思う。
- 4 農地の維持保全、住宅の緑の助成、人・自転車が安全に動ける道路網の整備、公園の緑の充実、要所に災害対策も兼ねた休憩所の設置、景観・史跡・散歩道を示す情報提供
- 5 自然林と都市空間の共存、イメージできるように整備

<メインルート・拠点の形成>

- 1 道路整備（歩行者、自転車が安全に通れる）
- 2 国立駅前のような田無駅から連なる顔となる景観を持つ街を希望。緑に包まれた市庁舎、図書館等の公共施設を設置して欲しい。
- 3 西東京市は"地域をイメージできる特徴"が少ないと思う。表参道のような並木道と現代的な建築 etc. 市外の人にも利用してもらえる公園&施設
- 4 国立の植物園（あるいは動物園等）を誘致する。全国から人を集めることができ、教育施設ともなり、老若男女が憩える場にもなる。

<その他>

- 1 各種の循環社会を構成するモデル地域
- 2 住民が、真に望むような都市イメージをテーマにした開発整備コンクールを実施し提案を市民投票によって選択し実施予算、財政対応などを考えてはどうか。

Q18 Q14で「16 大学キャンパス等の教育施設の再誘致」を選んだ方のみにかがいます。まちづくりに大学を重視する理由は何ですか。具体的に記入してください。

<大学側の動向>

- 1 かつて都心にあった私学が、八王子市や町田市など都心から遠い土地のキャンパスを設けたが、学生には不評である。大学によっては都心帰りが始まっている折、私学の単科大学を誘致できないだろうか。
- 2 西武は沿線に工場を誘致し東急は学園を誘致した。その結果が現在の沿線イメージだと思う。大学誘致は購買力や不動産価格が上がるしイメージも良い。六大学の法政多摩キャンパスを誘致できれば双方にメリットがある。
- 3 ここ数年、住宅・マンションラッシュです。薬科大移転後の公団・元住重の敷地の一部に戸建住宅とマンション。これから駅前に高層マンション！緑豊かな大学を、ぜひ再誘致して欲しいです。

<まちの活性化>

- 1 大学でなくとも、小中学校、フリースクールなどの活動にもっと使用してよいと思う。大学が誘致できるのであれば、町全体に活気がでるし、商店街なども栄え、不動産賃貸の需要も増えると思う。
- 2 大学誘致は街のイメージ向上と市民の生涯教育の拠点として有効。学生が増えることで街が活性化すると共に、様々な連携の可能性もある。
- 3 田無駅から近く若者が多い街になり経済効果もある
- 4 市全体への影響、とくに若人の集まる町になることが期待できる

Q21 移転後のまちづくりについて、具体的な提案があれば記入してください。

<保全型のまちづくり>

- 1 緑を残せるまちづくりを望んでいます。
- 2 ただでさえ市内のマンション建設ラッシュが進む中、演習林をなくしてしまうのはいかなものか。このスペースの有効活用こそ、西東京市を特徴づける可能性を持っていると思う。
- 3 既存樹木を極力保存する（移植も含め）形態でのデザインとする。立木の正確な位置を把握し、設計・計画に組込む。
- 4 森林は保存を重点にしながらか散策も存分にできることが望ましい。農場は一部を隣の公園に併合し大部分は採算のとれる再開発をする。
- 5 移転した跡地の利用に関して、現在の緑地と全く異なるような利用をすると見込まれる先には大学側が売却しないように働きかけたい。跡地が緑地や公園として利用されるなら現在と環境がそう変らない。
- 6 宅地化が進むと二度と元には戻せない。移転やむなしとなった場合でも、できるだけ現在の環境を残すよう努力し、緑地空間を大きく取る手段を選択すべきである。当然宅地化は最小限とすべきである。
- 7 都市中の田園、農地や屋敷林と住宅とが混在のまちづくり
- 8 とくにありませんが、住宅地として開発する場合は、環境共生型の低層住宅地として開発して欲しい。

<p><開発型のまちづくり></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 移動遊園地や移動動物園、サーカス、テント内演劇、プロレス興行の拠点など屋外イベントのメッカ 2 ボーリング場などのレジャー施設 3 大型ショッピングモール 4 超高層建築 5 東大農場単体の開発ではなく、東大農場跡地に大学を誘致し、そこまでのアクセスを含めて道路等を整備する。大学とマンションや商業店舗のある複合開発を行い、駅からのアクセスももっと魅力なるものにするべき。 6 多摩地区には多くの大学がありますが、西東京市には東伏見に早稲田、武蔵境に武蔵野大学くらいしかありません。緑も多く、住民も優しく、治安もまあよいのですから学園都市として発展し、周辺の多摩地区へのつながりを深めていくのはどうでしょうか？特に環境問題に力を入れている大学なんか良いのでは？市内の教育のレベルも上がると期待したいです。もちろん大学だけでは広いので不足している住宅も欲しいですね。
<p><災害拠点性の維持></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東大農地の災害拠点としての代替地はないと考えられます
<p><地域循環型システムの拠点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 景観を損ねないように配慮した規模の大きい生ゴミ処理場を作り、その生産物を利用して循環社会のモデルエリアを作る 2 東大の農学との協力で、地産の質・量を高め、販売・小売業者の地消ネットワークを充実し、地産・地消のモデル都市にしたい。
<p><公共・公益施設></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緑あふれるパブリックスペースと市庁舎、図書館、スポーツ施設などの公共施設の集中配備。 2 大規模な芝生のある公園＋市外の人にも利用してもらえる施設 3 郊外にあるのだから其の特性を生かした歴史村と花の公園で郊外の新宿御苑みたいなもの 4 以前、少年野球運営に携わった。子供達は学校の校庭で練習をしていたが、怪我をする心配があった。大人として整備されたグラウンドを望んだ。このような施設を希望する。 5 多くの人交流できるイベント会場
<p><その他></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大手デベロッパーに籠絡されないよう十分な配慮を要する。市長は構想を持っているのか。説明責任があると思う。 2 東大が跡地を売却の意向であれば、巨額な購入予算が必要となる。民間開発業者に買われれば利益優先の開発をされて最低である。東京都、近隣都市などにはたらきかけて負担を分かち、理想的な活用を図るべきだ。

Q22 ここまで回答して、改めて東大農場移転問題に対する考え、感想などがあれば、自由に記入してください。

<維持・保全>

- 1 演習林は周辺市にないものでこの保存が必要。移転後の維持管理は施設管理者制を利用しNPO法人などの市民団体に委託する。その際、西東京市の支援は必要。昨今、財団法人で運営するのは市民の反発がある。
- 2 繰り返しになるが、出来るだけ現状のまま残すべきである。
- 3 移転させないことに、重点を置くべきです。それが一番
- 4 東大農場の自然が失われることは西東京市にとって負となると思う。自然を残し、より便利で活力のある街にして欲しいです。
- 5 10年、20年のことじゃなく、もっと未来のこと、環境のこと考えてほしい。
- 6 市民税などで予算が増える等と安易に考えて宅地化には絶対にしないで欲しい。所詮人が増えても財政的にはプラスにはならぬ。今こそこの緑の空間を自然に帰すべき。都や国の補助も必要だろうが、必ず市民の賛同もある
- 7 東大農場を、街にしてしまうのはもったいないです。是非子供達の為にも緑を残して頂きたいです。
- 8 単なる緑地として残すよりも、安らぎと利便性のバランスをとったパブリックスペースとして欲しい。無秩序な乱開発は避けたい。
- 9 今後の西東京市内の農業は都市化が進み、農地が住宅やマンションに変わって行く事が予想されます、この東大農場や演習林などの今ある空間が西東京市の大きな財産として今よりも大きな意味を持つ事になると思います。
- 10 西東京市には強いリーダーシップを発揮いただき、せっかくの貴重な緑や自然環境を、長い将来まで残し続けるよう努力していただきたい。

<防災機能の維持>

- 1 避難所として利用していた敷地なので、何かあったとき不安に思います。
- 2 東大農場は都会のオアシス的存在である。公園緑地として子供から大人まで安心して憩える場所であり、広域避難場所としても是非確保すべきであると思料する。

<まちづくり(ハード)>

- 1 先日憩いの森に散歩ついでに東大農場を見ましたが、ぜひ住宅、レジャー施設などを建設することにより西東京が活性化すると思う。
- 2 中途半端な緑地を残すのであれば、緑地と防災拠点を兼ねた都市開発を推進すべきだと思う。その核として学生数の多い有名大学の誘致が成功すれば都市のイメージも良いし鉄道輸送力もアップし相乗効果が望める。
- 3 東大農場はあそび場ガイドブックに載るほど、市内外の人々に愛されている場所。跡地を売却、マンション建設という目先の利益にとらわれず、小金井公園のようにコミュニティと呼べる場作りに取り組んでほしい。
- 4 住民にとっても環境の変化は大問題なので、売却するならその売却先も含めて大学に働きかける。工場などの建設は避けたい。市が買い上げ、経営を市内の農家に委託するのはどうか。福祉作業所などで使用できないか。

<p><まちづくり(ソフト)></p> <p>1 移転問題を契機に、東大の協力の下、市民活動として、農と緑の活動を高める。移転であれば、西東京市及び市民団体に基金設立を企画しデベロッパーに委ねないようにしたい。</p>
<p><市民への情報提供・意識啓発></p> <p>1 現在までの経緯、確定事項等が良くわからないので、市の広報などでの説明がもっとあった方がよいのではと思う。</p> <p>2 千載一遇のチャンスであり、広く市民にアピール世論を高めるように努力してほしい。</p> <p>3 移転が確定しているのだから、土曜日や祝祭日も一般開放して、住民の理解を深める努力をしていただきたい。</p> <p>4 移転のことを知らない市民も多いようです。まだまだ情報公開が足りないと思います。意見はインターネットだけでなくFAXなどでも集めたらいいと思います。</p> <p>5 計画が出来れば徹底したPR、市民参加、田無本町付近の整備</p>
<p><意見・要望></p> <p>1 西東京市のランドデザインが構築されていないという印象を受けるが、いかななものか。</p> <p>2 移転を是とした問いが多いが移転しないという市民の声を聞くべきである。</p> <p>3 跡地にゴミ焼却場だけは作らないで欲しいです。</p> <p>4 まずは土日開放して欲しい。</p>
<p><その他></p> <p>1 移転そのものは東大の問題であり関与すべきではない。</p> <p>2 東京大学が出てゆくというのを市民がとどめる権利はない。</p> <p>3 移転は東大の問題だから仕方ないが、最近市内では企業が移転した後の土地がすべて大型住宅になっており、一部の年齢層のみが増えて保育園や学校のキャパシティが一時的に不足していることが問題と思う。</p> <p>4 この問題に関してはあまりにも無知だったなあと思います。私の住居から遠い事もあり、関心が薄かったと思いました。</p> <p>5 財政的には、一番可能性がある不動産デベロッパーへの売却は、ぜひ食止めてほしい。街のブランド価値を低下させることになる、高層マンションが増えるだけで、西東京のイメージアップにはつながらないと思う。「ひと・もの・ことが育つまちづくり」に役立つ跡地利用をぜひ考えてほしいと思います。</p>

(3) 第3回

Q19 現在の東大農場を地域資源としてどのように生かしていくかは重要な課題です。アンケートに回答してみて、東大農場の地域資源としての効果的な活用方法について、あなたの提案があれば記入してください。

<維持・保全>

- 1 何よりも東大農場のみどりを残すことが大切だと考えます。
- 2 二度と手に入らない貴重な資源なので、市の全英知を傾けて、保存してほしい。
- 3 現在恩恵を受けている安全で豊かな自然を享受できることで十分である。当然、大規模災害に対応する「広域避難場所」としての活用は今後も続けられることが必要であり、市の財政に係る各種の効果的活用を望むところではあるが、東大農場の立地と環境を生かす方法は兎に角出来るだけ現状を維持することにあると考える。
- 4 移転するとの前提で様々論議してきましたが、東大が都心に近いこの田無農場を若者の教育に生かしてもらうのが、市民にとっては丸ごと残ることになり、国の将来を担う若者に土の暖かみや農業の大切さ、循環型社会のありようを学んでもらうことはとても大切なことと思います。そして市民とも共同して総合学習として自然観察や農業体験・写生等々に生かしてもらえればと思います。障害者の農業への参加も出来ると良い。市民もボランティアで農場の案内やパトロールで農地や作物が心無い人に痛められないようにマナーを守れるように協力する必要があります。東大農場は、まちの里山であり宝物です。
- 5 東大農場の緑を守ることは地球環境の保全のために重要であると認識しています。東京都、国へ働きかけて緑を残せるようにしてほしい。
- 6 季節的な手入れ（雑草の刈り取りなど）以外は現状維持が望ましいです。人寄せの為に何かを新たに増設するのであれば、寄付や税金は払いたくないです。自然が一番です。

<公園・イベント会場>

- 1 有料の自然公園、各種イベント会場としての利用
- 2 緑と近代的な建物が並ぶイベント会場
- 3 入場料を有料（200～300円程度）として、自然林の形を徹底的に残した場所（森林公園）として運営して欲しい。散策ルートがあり、ルートの途中にさまざまなイベントやコーナーを配置し、それぞれの楽しみが味わえるようなイメージ。
- 4 緑を残していく方向で、公園など地域の人たちの為、街のためになるような資源作りをして欲しい。
- 5 真に市民の、憩い、厚生に資する、新しいコンセプトに基づいた、公園として活用したい。
- 6 住宅を建てれば固定資産税の増収が見込まれるという意見に反対です。インフラの整備に相当の支出がかかり、それを取り戻すまでに年月がかかります。防災対策や温暖化対策に緑を残す方法として基金というのは一つの方法だと思います。それには農地ではなく多くの市民が憩いの場として使える公園であれば市民は基金に賛成すると思います。本当の意味の市民公園です。小金井公園のように市民が自由に散策できる公

園が理想です。

7 1.桜の園 2.緑の広場

8 せっかくの広大な森林・農地なので、親子で遊べるアスレチックを作ったり、市民農園、フリーマーケットなど開催したらいいと思う。

9 市営でなく都営(都立公園)になればいいと思いました。

【提案】

金銭的負担を軽減させるために、取得した土地の一部を市民にとって有益な企業に一定期間貸す(借地権)etcの方法で、収入の安定と地域活性化につなげる。(市民組織による地域ビジネスはリスクと軌道にのるまでに時間がかかる。)

農地取得を一部にする。(目的税・会費負担によって西東京市に住む人が減る可能性がある。)

グラウンドを企業と共同保有し、市民にも開放してもらう。

大学(教育機関)を誘致する。(環境に配慮してくれるから。)

<レジャー・アメニティ施設>

1 緑は壊したらおしまいなので自然を生かした観光施設を併設する日本独自のもの明治村みたいなもの

2 緑を残すことも大切ですが、同時に砧公園の中にある世田谷美術館のような集客施設も欲しいところですね。

3 スポーツ施設(テニスコート)を作って欲しい。

<地域循環型社会システム>

1 アースデイで行っていた菜種油でトラクターを動かすような取り組みを本格的に展開してみたらどうか。バイオエタノールへの関心も高まっているし、環境やリサイクル、食育などの分野で西東京市が有名になれば嬉しい。

2 循環型社会の一環として活用したい。具体的には、アンケートにもあったような、堆肥の活用や、市民農園として使用料を徴収しつつ市民・一般へ開放することなど。

3 緑や環境問題を研究している企業に提供する。大学でも良し。

4 緑化地帯として、放って置いても、問題ないのだから、あわてて活用方法を決めず、広く議論してからのほうがいい。前回にも言ったが、循環社会の見本となるような緑化地域を作る事。

5 東大農場跡地で植物作り販売と言ったような仕組み作りが数多く出できれば、素晴らしいと思います。また2号線道路が出れば隣接する地域から多くの人を呼ぶ事も出来ると思いますが、多くの人を呼び込む為の戦略も必要になると思います。ただ農園の延長として考えますと井の頭公園、小金井公園、深大寺植物園、などと比較しても魅力が無いと思います。西東京市の広告として「道の駅」を2号線に隣接し農産物の販売または園芸教室、その他を展開、運営していければ西東京市の宣伝や農業支援などに結び付けられるのではないのでしょうか。

<まちづくり>

- 1 東西に走る、計画道路により道路周辺区画とそうでない区画では、地価評価額が大きくなっていく。総合的な開発の視点で検討されるべきである。道路計画がまったくないというのなら、緑保全を中心に考えてもよいが、道路完成の予測も不明では、情意的にしか感性を働かせられない。
- 2 広域な避難場所としての役割や駅近の大規模緑地として重要な資源と思う。ただ、緑地周辺の都市開発やインフラが整備されてはじめて緑地の価値が上がるので、総合的な判断を持って開発と緑化を進めていくべき。
- 3 前回にも回答していますが、超高層マンションを認め、周囲の緑を保存するのが財政上正しいと思います。
- 4 単に東大農場のみどりを残すだけでなく、市庁舎や図書館等を跡地に移転し、市の求心力を高めることを検討したい。田無、ひばりヶ丘の間に位置する緑に囲まれた公共施設は他市にはない魅力である。現田無庁舎は立地がよいので、民間に売却し、その分を跡地利用に活用すればよいと思う。
- 5 市民に税金の負担を増さないように、半分の土地を住宅として開発していかかですか。

<その他>

- 1 隣のいこいの森公園や市の施設で無駄な職員が多すぎます。
- 2 農地の資源として、お金に換算できるメリットが明確になれば、参加出来る人が多いのではないかと思います。
- 3 東大が市に無償で提供すべきだと思う
- 4 利用料を徴収する等の検討。
- 5 仮にファンド（基金）を設立するとしたら、もっと市民に説明する必要がある。市民は総論賛成（みどりの保全）各論反対（税金徴収）になると考えられる。ファンド（基金）の運用に関しても同じである。
- 6 専門的な事はよく分かりませんが、市民が活動できる場であってほしいです。

Q20 ここまで回答して、改めて東大農場の移転問題に対するあなたの考え、感想などがあれば、自由に記入してください。

<維持・保全>

- 1 あの土地が西東京市に還らなかったら近隣を含め、どうなってしまうのか心配です。（環境の悪化など）
- 2 今後、東大農場跡地が存続して、西東京市で管理するようになればいいと思う。
- 3 東大農場の移転中止を求める市民の3万人署名運動が16日から始まります。市としても東大本部・東京都・総理大臣・関係部局に市長自ら移転中止の要請をお願いします。そして、貴重な農地を次世代に引き継げるよう市民との協働もお願いします。みどりを残す基金は、必要ですが不安定の時代、必要なとき市が保証してもらえれば、銀行や郵便局に預けるより地元のみどりを、次世代に残したいと思います。相続人の居ない人、使わずに死ぬことが出来れば、遺言書で死後寄付しても良いと思います。

地球の温暖化異常気象は地獄の1丁目、Co2の10分の1になるのに5000年掛かるそうです。もう待たなし。みどりは、守らねばなりません。東大農場は、農地として丸ごと残しましょう！

- 5 東大も元々は税金で支えられていたので、農場の跡地も地元住民の環境保全に資する様な形で利用されることが望ましい。
- 6 安易に住宅地になるのは、環境のことを考えると賛成できないと思った。
- 7 公園は各地に無数にありますが、森林環境といえるものは貴重だと思います。古くからのこの財産を維持することで、他の行政が運営する公園とは趣の違う、西東京市独特の「テーマパーク」として運営欲しいです。敷地を「ただの公園」として再開発するのではなく、「森林」として残すことが他の公園と比べて、個性的で大きく差別化されたものになると思います。
- 8 千葉に移転するそうですが23区に近い場所にあるので全ての面で価値観があるから移転は残念

<まちづくり(ハード)>

- 1 田無駅から東大農場までのアクセスを充実させ、店舗等も積極的に誘致する。周辺の区や市からもデートのために東大跡地に訪れるような緑地にすべき。それでなければ私大を再誘致し、学生街を形成すべき。
- 2 あまりにも広大な土地のため、維持していくのは貧しい西東京市の市民だけでは無理があるのではないかと思いはじめています。もちろん緑の保全は理想であり、希望ではありますが、負担が大きくなっては将来的にもよろしくないでしょう。制限付きで民間に参入させるのも良いのでは？市民団体ははっきり言って信用できません。
- 3 何が何でも現状維持と言う事ではなく、樹木・緑地の保全を前提とした再開発を検討する。またこの検討事項は市民へ公開し、コンセプトを得る。

<まちづくり(ソフト)>

- 1 東大農場は土日が閉鎖されるため、働いている人が家族をつれて遊びに来ることができないのは残念だと思う。環境型のイベントなどを増やし、休日も多くの人に集まってもらえるようにしたいと思う。今は年に一度のアースデイぐらいしかないので、もったいない。もし、西東京市が管理することができるようになれば、今まで東大から許可をとらなければ出来なかったことが可能になり市民の意見がもっと反映されると思う。
- 2 他市(武蔵野エリア)のいいところは、負担なくいい環境を得ることができると思う。今回の西東京市のケースのように、負担があるとわかれば、多少違ったかたちとなっても妥協点はあると思う。Q19に回答したように、企業との共同保有や大学誘致や土地活用etcの方法で環境保全に賛同してくれる企業や教育機関を募りコラボレーションすることで、単なる公園や地域活動の場としてみどりの保全を図るよりも、金銭的負担を減らし新たな可能性を見つけられると思う。このような機会を与えてくださり嬉しく思います。西東京市がいい環境+いい財政状況で皆が長く住み続けられるようになることを願っています。

< 市民への情報提供・意識啓発 >

- 1 この問題は重要であることは理解できる。しかし、現状は市民が知っているとは思えない。これからもっと説明して盛り上がるようにして下さい。
- 2 移転に関してはモニターだけでなく、市民全員に意識調査をして頂きたいと思います。移転を知らない市民も多いのが現状です。
- 3 東大農場のみどりを保全することは将来にわたりとても大切なことだと思います。しかし、税金の徴収はいかなものかと考えます。現在の西東京市の税金の使われ方を再検討する必要があるのでは。無駄はないのか適切なのが再検討していただきたい。11月からのゴミの有料化といい、税金については疑問を持っています。市民が納得できるように十分な検討と分かりやすい説明をしていただきたいです。
- 4 別添の<資料：東大農場、演習林の状況>によれば、東大の中期計画では農場の処分には言及していないとのことですので、当事者として市・東大・東京都等の関係者が出来るだけ早期に移転方針の確認を行い、今後の対応につき検討を始めて欲しい。
- 5 東大農場の移転問題の情報に関して、市民への周知不足である。西東京市のホームページや市報などを使って易しく情報開示する必要がある。また、市民集会などに出かけてこの問題を市民に問いかけ認識させる必要がある。市民の盛り上がりをもっとも重要で、これが今後のスムーズな運営に影響すると考えられる。
- 6 移転問題について、我々市民に伝わっていないと感じた。
- 7 東大農場の所有者や管理者の意向が全く見えないのに論議しても限界を感じる。出来るだけ多くの情報を開示して頂きその情報に基づいた、論議を進める様にしてください。

< 市民負担 >

- 1 いい環境を得るためには、市民が金銭的負担をしなければならないのだと痛感した。
- 2 移転することによって市民への負担が大きくなることは確かであろうが、前向きは開発につながってほしいです。
- 3 農場、緑は残したいと思っている。基金についてはもう少し考えていく必要があると思う。考え方としては賛成である。しかし高齢者が多くなっていく等の問題、市民全員に計っていくことへの難しさなど、どのようにすすめるのかとしんばいではある。
- 4 一番重要なことは、目先の問題に拘れず（特にお金）緑化地域をどうして残していくかという事。自然をそのまま子孫に財産として残すには、多少はお金がかかります。この点の市民の理解を得るまで努力する事。それには多少のお金がかかるでしょうがね。
- 5 ファンド設立による緑の維持保全事業は、分かり易く、良い方法だと思いますが、毎年基金を募集する方法のほか、初年度一時金でまとまった金額を集めることも大事ではないでしょうか。
- 6 旧保谷在住のため1度しか行ったことがなく、移転後自分の生活の中での影響があるかないかと考えると、ない方になるのではと思っています。ただ、市で購入して市民が利用できる物になるのであれば協力していきたくと思います。
- 7 東大農場を購入するのにお金がかかるというのも理解しているつもりで、購入するためには資金調達が必要であるという市側の状況もよくわかりますが、購入後の効果、

どのように西東京が住み良い街になるかどうか明確になっていないのに、寄付する気にもなれないし、増税されるのも納得いかなかった。

8 一部の住民が恩恵を受ける施設に対して税の負担を強いるのは反対です。

9 資金援助等は、少ない金額もしくは無しで今の税金から上手く運営していけないものだろうか。日々の生活がギリギリの世帯は多いはず。

<意見・要望>

1 東大農場の移転問題に対する市にとんな努力していますか。市の財政状況はどうですか。

2 東大農場移転反対の署名活動が始まっていますがこのまま東大農場を継続させる方法で市が取り組むとどの様な問題が出てくるのでしょうか？

3 こうした議論を市民と市が協力して進めていくことは大変意義深いと感じる。単にみどりを残すことに終始せず、市民のいこいの場としての役割と市の発展の象徴として、効果的な活用を考えていきたい。

4 営利目的の商業利用にだけは反対です。頑張ってください。

<その他>

1 東大農場を市に売却するという見通しがあるのか、交渉の窓口は独立法人なのか財務省なのか、さっぱり分からない。大手デベロッパーに上手く立ち回られる心配が大である。

2 西東京市に引っ越してきて1年半になりますが、桜の名所でもあるようで1度訪れてみたくなりました。

平成 18 年度市政に関する意識調査実施結果報告書
平成 19 年 5 月

発行：西東京市企画部企画課
〒188-8666
東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号
Tel : 042-464-1311 Fax : 042-463-9585